

石川県こころの健康センター所報

第 35 号

(平成24年度実績)

石川県こころの健康センター

— 2013 —

目 次

こころの健康センター概要

1 沿 革	1
2 施設の概況	3
3 組織・機構	4
4 業 務	6

平成24年度こころの健康センターの活動概要

1 庶務課業務	
（1）精神障害者保健福祉手帳の交付	8
（2）自立支援医療費（精神通院医療）支給認定	9
（3）精神医療審査会	11
2 相談課業務	
（1）技術指導及び技術援助	13
（2）教育研修	15
（3）普及啓発	18
（4）精神保健福祉相談	22
（5）特定相談指導事業	31
（6）組織育成	32
（7）在宅精神障害者社会復帰促進事業（田園クラブ）	36
（8）青年期心の健康づくり推進事業（ひきこもり相談支援事業）	38
（9）ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業	41
（10）自殺予防対策推進事業	41
（11）子どもの心のケア推進事業	46
（12）精神障害者地域生活支援事業	51
（13）調査研究	52
3 支援課（発達障害支援センター）業務	
（1）発達障害児（者）及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援 ...	53
（2）精神科医による相談事業	55
（3）青年期グループ活動	56

(4) 就労者グループ活動56
(5) 親のつどい57
(6) 関係機関等との調整会議57
(7) 機関コンサルテーション58
(8) 個別支援のための調整会議59
(9) 普及啓発及び研修60

資 料

1 精神保健福祉相談状況（電話・来所・訪問）63
2 精神保健福祉相談状況（訪問指導）67
3 普及啓発活動70
4 関係機関・団体との連携72
5 家族教室及びメンタルヘルス74
6 集団指導76
7 こころの健康センター貸出しビデオテープ・DVD一覧77

こころの健康センター概要

1 沿 革

昭和 41 年 10 月	石川県社会福祉会館内に石川県精神衛生センターが開設される。
昭和 56 年 11 月	金沢市南新保町ル 3-1（現所在地）に新築移転する。
12 月	デイ・ケア事業、乳幼児発達相談事業（～平成 8 年度）を開始する。
昭和 57 年 4 月	特定相談指導事業（アルコール関連問題、思春期精神保健に関する相談指導等）を開始する。
昭和 58 年 4 月	親子通所センターが児童相談所より移管される。 同時に庶務課、相談課、訓練課の課制が施行される。
昭和 61 年 4 月	心の健康づくり推進事業を開始する。
昭和 63 年 4 月	石川県精神保健センターと名称を変更する。 痴呆性老人通所事業を開始する。（～平成 2 年度） メンタルヘルス講座を開講する。（～平成 4 年度）
平成 元年 4 月	社会復帰連絡会を開始する。（～平成 5 年度）
平成 3 年 4 月	こころの相談ダイヤル事業を開始する。
平成 6 年 4 月	こころの健康フェスタ開催事業を開始する。（～平成 10 年度）
平成 7 年 7 月	石川県精神保健福祉センターと名称を変更する。
平成 8 年 10 月	ピア・カウンセリング推進事業を開始する。（～平成 18 年度）
平成 13 年 4 月	石川県こころの健康センターと名称を変更する。
平成 14 年 4 月	精神医療審査会、通院患者の公費負担及び精神障害者保健福祉手帳に関する業務が石川県健康福祉部障害保健福祉課より移管される。
平成 14 年 10 月	住所表示が金沢市鞍月東 2 丁目 6 番地に変更される。
平成 17 年 4 月	発達障害支援センターが設置される。
平成 18 年 4 月	親子通所センターが閉所される。

- 平成 20 年 9 月 石川県精神科救急情報センター「いしかわこころの救急ダイヤル」事業を開始する。
- 平成 20 年 9 月 いしかわ子どもの心のケアネットワーク事業を開始する。
- 平成 21 年 5 月 ひきこもり地域支援センターが設置される。
- 平成 21 年 9 月 こころの緊急支援事業（C R T）を開始する。
- 平成 23 年 3 月 「こころの健康相談統一ダイヤル」を開始する。

2 施設の概況

(1) 土地

所在地 石川県金沢市鞍月東2丁目6番地 (〒920-8201) TEL 076(238)5761

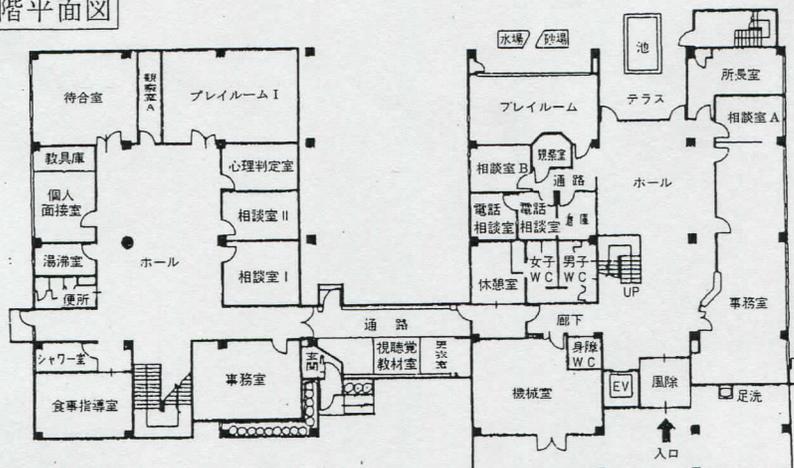
敷地 3,141 m²

(2) 建物

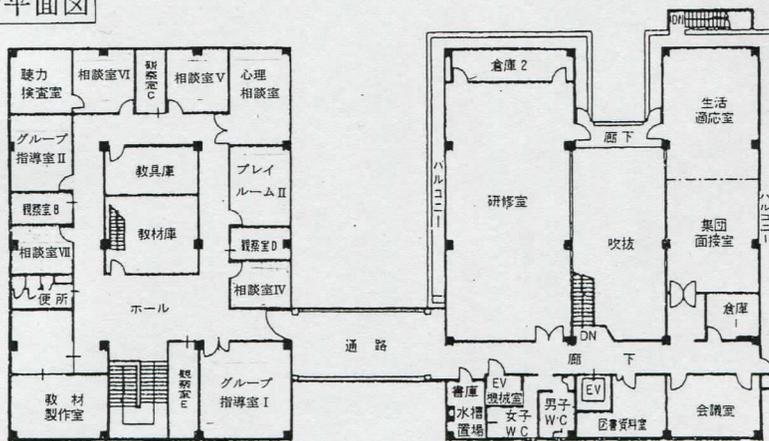
鉄筋コンクリート2階寄棟造 延1,761.26 m²

《館内平面図》

1階平面図



2階平面図

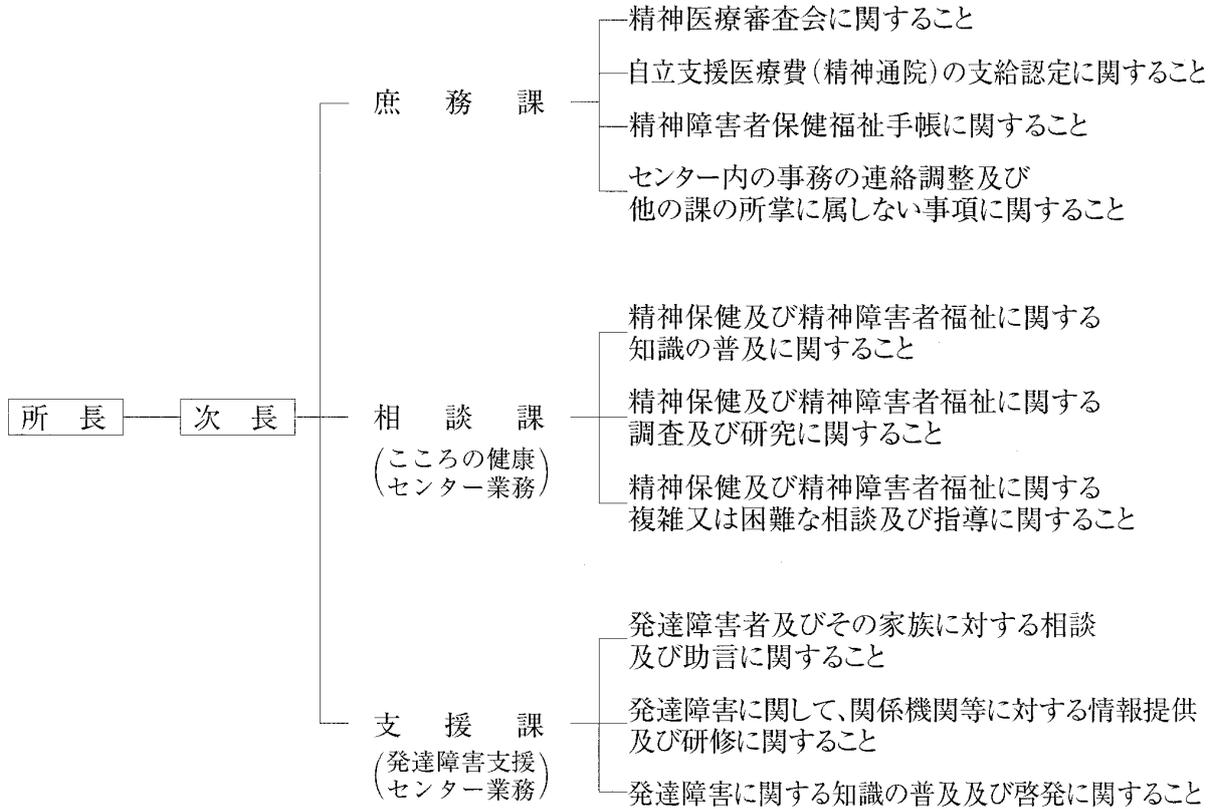


(発達障害支援センター)

(こころの健康センター)

3 組織・機構

(1) 機構



(2) 職種別職員数

(平成25年10月1日現在)

職 種		医 師	保 健 師	看 護 師	福 祉 指 導 員	心 理 判 定 員	電 話 相 談 員	事 務 職 員	運 転 技 術 員	事 務 補 助 員	計
職員	常 勤		3	4	4	6		4	1		22
	兼 務	1				1					2
嘱託	常 勤					2	1			1	4
	非 常 勤	3				2	6				11
臨時職員										1	1
計		4	3	4	4	11	7	4	1	2	40

(3) 課別職員数

(平成25年10月1日現在)

課 名	職 種	職 員		嘱 託		臨時職員	計
		常 勤	兼 務	常 勤	非常勤		
所 長	医 師		1				1
次長兼庶務課長	事 務 職 員	1					1
次長兼相談課長	保 健 師	1					1
庶 務 課	看 護 師	3					9
	事 務 職 員	3					
	運 転 技 術 員	1					
	事 務 補 助 員			1		1	
相 談 課	医 師				2		20
	保 健 師	1					
	福 祉 指 導 員	3					
	心 理 判 定 員	3	1	1	2		
	電 話 相 談 員			1	6		
支 援 課	医 師				1		8
	保 健 師	1					
	看 護 師	1					
	事 務 職 員						
	福 祉 指 導 員	1					
	心 理 判 定 員	3		1			
計		22	2	4	11	1	40

4 業 務

庶務課

平成 14 年度に石川県健康福祉部障害保健福祉課から移管された次の業務を行っている。

- (1) 精神医療審査会に関する事務
- (2) 自立支援医療費(精神通院)の支給認定及び精神障害者保健福祉手帳に関する事務

相談課

相談課は精神保健福祉センター業務を担い、「精神保健福祉センター運営要領」(平成 8 年 1 月 19 日健医発第 57 号厚生省保健医療局長通知)により、次の業務を行っている。

(1) 企画立案

地域精神保健福祉を推進するため、県本庁及び関係諸機関に対し、専門的立場から、社会復帰の推進方策や、地域における精神保健福祉施策の計画的推進に関する事項等を含め、精神保健福祉に関する提案、意見具申等をする。

(2) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するため保健所、市町及び関係諸機関等に対し、専門的立場から技術指導及び技術援助を実施する。

(3) 教育研修

保健所及び精神保健福祉に関係する諸機関の職員の技術的水準の向上を図るために、教育研修を実施する。

(4) 普及啓発

県民の心の健康づくり対策として、精神保健福祉の知識と精神障害についての正しい知識等の啓発普及を行うため、パンフレットやパネルを作成したり、ビデオやDVDの貸し出しをする。また同様の趣旨で職場、学校、福祉関係機関、市町の公民館などで開催される講演会や研修会へ講師を派遣する。

(5) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進並びに精神障害者の社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加の促進等についての調査研究を実施するとともに、精神保健福祉に関する統計及び資料の収集整備をする。

(6) 精神保健福祉相談

幼児から老人まで、また自分自身のことから家族・同僚に至るまで、広く心の問題に関する面接及び電話相談に応じる。

(7) 特定相談指導事業

アルコール関連問題や薬物関連問題、思春期精神保健に関する相談に応じ、関連問題の発生予防、精神的健康の保持増進への援助をする。

(8) 組織育成

地域精神保健関係団体の育成に努め、活動に協力する。

- (9) 在宅精神障害者社会復帰促進事業（田園クラブ）
在宅精神障害者の社会復帰の促進を目的としたクラブ活動を週2回実施する。
- (10) 青年期心の健康づくり推進事業
主に18歳以上の若者のひきこもり問題に対して、関係機関とネットワークを作り支援していく。併せて、保護者等の家族教室、および本人のためのグループ活動を実施する。
- (11) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業
ドメスティック・バイオレンスに悩む男性のための相談窓口を開設し、関係機関連絡会を開催して、問題改善のための連携強化を図る。
- (12) 自殺対策推進事業
自殺者数は年々増加傾向にあり、平成19年度より、自死遺族交流会や依存症教室、自殺予防初期介入研修、睡眠キャンペーンなどを実施している。
- (13) 子どもの心のケアネットワーク事業
子どもの心の問題について、地域で安心して相談できる体制づくりを目指しての相談対応や事例検討会、地域の保育所等への巡回、関係者育成セミナーなど平成20年度より実施している。
- (14) 関係機関との連携
地域精神保健福祉活動の円滑な推進を図るために保健所等との精神保健福祉業務連絡会を開催する。
全国(69ヶ所)及び中部・近畿ブロックの精神保健福祉センター長会(20ヶ所)と中部ブロックの精神保健福祉センター連絡協議会(11ヶ所)に参加している。

支援課（発達障害支援センター）

支援課は発達障害支援センター業務を担い「発達障害支援センター運営事業の実施について」(平成17年7月8日障発第0708004号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知)により、次の業務を行っている。

- (1) 発達障害児(者)及びその家族等に対する相談支援
- (2) 発達障害児(者)及びその家族等に対する発達支援
- (3) 発達障害児(者)及びその家族等に対する就労支援
- (4) 関係施設及び関係機関等に対する普及啓発及び研修
(関係施設及び関係機関等との連携)

平成24年度こころの健康センターの活動概要

1 庶務課業務

(1) 精神障害者保健福祉手帳の交付

制度の概要

一定の精神障害者の状態にあることを証する手段となり、手帳の交付を受けた者に対し、各方面からの協力により各種の支援策が高じられることを促進し、もって精神障害者の社会復帰及び自立と社会参加の促進を図ることを目的として、平成7年に創設された。

対象者

精神疾患（知的障害を除く）を有する者のうち、精神障害のため長期にわたり日常生活又は社会生活への制約がある者。

障害等級

- 1級 日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの
- 2級 日常生活が著しい制限を受けるか、又は日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度のもの
- 3級 日常生活若しくは社会生活が制限を受けるか、又は日常生活若しくは社会生活に制限を加えることを必要とする程度のもの

交付手続き

申請書に写真（上半身）とア又はイの書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

ア 医師の診断書

精神障害に係る初診日から6か月を経過した日以後に作成されたもの

イ 年金証書等

精神障害を支給事由とする障害者年金または特別障害給付金を現に受給していることを証する書類の写し

審査及び判定

診断書添付による申請の場合、手帳の交付の可否及び障害等級の判定については、精神保健指定医を委員とする石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で行われる。委員は7名（会議はメンバー持ち回りの4名出席で開催）で、平成24年度は22回開催した。

手帳の有効期間

2年間 更新申請は有効期限の3か月前から可能

手帳に基づく各種支援策

税制上の優遇措置や生活保護の障害者加算、公共交通機関の運賃割引、公共施設の利用料割引などの支援が受けられる。

表1 精神障害者保健福祉手帳の交付状況

(単位：件)

区 分		計	新 規		更 新				
			診断書	年金	診断書	年金			
平成 20年度	申請	2,171	1,107	1,064	475	301	632	763	
	交付	1級	335	228	107	84	33	144	74
		2級	1,528	713	815	302	237	411	578
		3級	257	134	123	69	22	65	101
		計	2,120	1,075	1,045	455	292	620	753
平成 21年度	申請	2,363	1,184	1,179	493	283	691	896	
	交付	1級	348	225	123	92	29	133	94
		2級	1,722	813	909	331	215	482	694
		3級	241	117	124	54	32	63	92
		計	2,311	1,155	1,156	477	276	678	880
平成 22年度	申請	2,578	1,301	1,277	557	287	744	990	
	交付	1級	357	240	117	79	26	161	91
		2級	1,878	869	1,009	384	232	485	777
		3級	264	132	132	61	25	71	107
		計	2,499	1,241	1,258	524	283	717	975
平成 23年度	申請	2,849	1,461	1,388	612	350	849	1,038	
	交付	1級	330	208	122	65	25	143	97
		2級	2,124	1,026	1,098	425	282	601	816
		3級	330	179	151	91	37	88	114
		計	2,784	1,413	1,371	581	344	832	1,027
平成 24年度	申請	2,887	1,435	1,452	574	285	861	1,167	
	交付	1級	311	191	120	55	23	136	97
		2級	2,200	1,036	1,164	409	224	627	940
		3級	321	182	139	93	30	89	109
		計	2,832	1,409	1,423	557	277	852	1,146

(2) 自立支援医療費(精神通院医療)支給認定

制度の概要

障害者等が、その心身の障害の軽減を図り、自立した日常生活を営むために必要な医療を受けるに際して、その医療費の一部を公費で負担する制度である。即ち、医療費に対して各医療保険制度が適用された後、患者の自己負担額を医療費の1割とし(ただし、世帯の所得に応じて負担上限月額の設定あり) 残りを公費負担とする。

対象者

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に定める精神疾患を有する者で、通院による精神医療を継続的に必要とする程度の病状にある者。また、症状が殆ど消失している者であっても、障害の程度が軽減している状態を維持し、又は障害の再発を予防するために入院によらない治療を続ける必要がある場合も対象となる。

申請手続き

申請書にア又はイの場合における書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

ア 支給認定の申請のみを行う場合

自立支援医療（精神通院医療）の診断書、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料
高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

イ 手帳の新規交付又は再交付の申請と併せて支給認定の申請を行う場合

精神障害者保健福祉手帳用の診断書及び治療の投薬内容がわかる自立支援医療費（同時申請）手帳用診断書投薬内容届、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料
高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

支給認定

精神通院医療の要否については、石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で判定が行われ、県知事はその結果を受けて支給認定を行うかどうかを決定する。

支給認定の有効期間

1年間 更新申請は有効期限の3か月前から可能

受給者証の交付

支給認定が行われた申請者に対し、指定医療機関や自己負担上限月額、有効期間等を記載した自立支援医療受給者証（精神通院）を交付する。

表2 自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定状況（単位：件）

年度	計	保険者別内訳				
		被用者 保険本人	被用者 保険家族	国民健康 保険	生活 保護者	その他
平成20	9,758	1,442	1,994	5,167	1,044	111
平成21	11,706	1,760	2,783	5,841	1,200	122
平成22	12,041	1,956	2,650	6,100	1,219	116
平成23	13,060	2,149	2,925	6,449	1,404	133
平成24	13,122	2,165	2,766	6,456	1,607	128

表3 手帳所持者数及び支給認定者数の各年度末推移

年 度	手 帳 所 持 者 数				支給認定者数
	1 級	2 級	3 級	計	
平成15	442	1,460	376	2,278	7,409
平成16	498	1,812	419	2,729	8,397
平成17	556	2,121	481	3,158	8,835
平成18	607	2,355	501	3,463	9,582
平成19	631	2,591	475	3,697	9,547
平成20	662	2,880	481	4,023	9,890
平成21	683	3,239	484	4,406	10,731
平成22	697	3,541	502	4,740	11,685
平成23	687	3,973	572	5,232	12,275
平成24	622	4,256	620	5,498	12,885

表4 市町別手帳所持者数及び支給認定者数（平成25年3月31日現在）

区 分		加賀市	小松市	能美市	川北町	白山市	野々市市	金沢市	かほく市	津幡町	内灘町
手帳	1級	37	38	25	1	41	22	288	19	9	5
	2級	213	279	149	11	422	168	1,993	130	87	94
	3級	46	62	27	4	82	30	224	19	10	8
	計	296	379	201	16	545	220	2,505	168	106	107
通 院		753	1,064	473	40	1,035	475	5,462	386	323	250
区 分		羽咋市	志賀町	宝達志水町	七尾市	中能登町	輪島市	穴水町	能登町	珠洲市	合計
手帳	1級	10	8	13	52	11	17	4	15	7	622
	2級	65	61	42	274	58	90	28	59	33	4,256
	3級	13	14	8	31	13	8	1	10	10	620
	計	88	83	63	357	82	115	33	84	50	5,498
通 院		259	225	147	873	268	323	118	227	184	12,885

(3) 精神医療審査会
設置の根拠法令

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第12条

審査会の業務

次の報告や請求に係る精神障害者の入院継続の要否又は処遇の適否について審査する。

ア 病院からの措置入院者の定期病状報告、医療保護入院者の定期病状報告、医療保護入院者の入院届

イ 入院中の者又はその保護者からの退院請求又は処遇改善の請求

委員構成

10人（医療委員6人、法律家委員2人、有識者委員2人）

合議体

審査会には5人で構成する合議体を2つ置き、審査は月1回交互に行う。

平成24年度の開催実績

審査会12回、全体会議1回

表5 精神医療審査会の審査状況

年 度	退院等の請求			措置入院者の定期病状報告		医療保護入院者の定期病状報告		医療保護入院者の入院届		審査件数合計	
	審査件数	面接件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等
平成15	25	25	1	15	-	1,123	-	1,561	-	2,724	1
平成16	22	22	-	12	-	1,122	-	1,673	-	2,829	-
平成17	24	23	-	13	-	1,201	-	1,716	-	2,954	-
平成18	22	22	-	19	-	1,151	-	1,968	-	3,160	-
平成19	22	22	-	21	-	1,151	-	2,143	-	3,337	-
平成20	24	23	-	17	-	1,184	-	2,214	-	3,439	-
平成21	30	26	-	23	-	1,253	-	2,310	-	3,616	-
平成22	27	23	-	23	-	1,234	-	2,348	-	3,632	-
平成23	50	33	-	31	-	1,316	-	2,343	-	3,740	-
平成24	37	33	-	31	-	1,314	-	2,487	-	3,869	-

注：入院形態の変更等の欄は、審査会において退院が適当又は他の入院形態が適当との意見が表示された件数

2 相談課業務

(1) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するために、保健所及び関係諸機関に対し職員等を派遣し、専門的な立場から技術援助を行っている。

平成 24 年度の技術援助回数は 184 回で、そのうち保健所(保健福祉センター、地域センター、金沢市保健所及び福祉健康センターを含む。以下「保健所」と記す。)へは 30 回 (16.3%)、行政・教育・福祉等の関係機関へは 154 回 (83.7%)であった。

ア 保健所

平成 24 年度において保健所からの要請に応じ、事例検討会をはじめ関係機関との連絡調整、情報提供、その他の内容で指導・援助を行った回数は 30 回であった(表 1)。

表 1 保健所への技術援助及び技術指導回数

区 分	計	事 例 検 討 会	知識普及 保健活動	関係機関 との 連絡調整	情報提供 ・その他
南加賀保健福祉センター	5	2	1		2
石川中央保健福祉センター	6	3		1	2
河北地域センター	1	1			
能登中部保健福祉センター	6	4			2
能登北部保健福祉センター	5	4	1		
金沢市駅西福祉健康センター	1	1			
金沢市泉野福祉健康センター	3		2		1
金沢市保健所	1				1
石川中央・能登中部・能登北部保健福祉センター	1	1			
こころの健康センター及び県	1				1
合 計	30	16	4	1	9

イ 関係機関（保健所を除く）

県内の関係機関の要請に応じて、知識の普及・保健活動、関係機関との連絡調整、事例検討会、情報提供等の指導援助を行っているが、平成 24 年度の保健所以外の行政や教育、医療機関への技術援助は 154 回であった。

区分別では国・県への技術援助が 49 回と一番多く、次いで、福祉 23 回、教育 19 回の順になっている（表 2）。

表 2 関係機関（保健所を除く）への技術援助及び技術指導回数

区 分	計	事 例 検 討 会	相 談 訪 問 指 導	知 識 の 普 及 ・ 保 健 活 動	協 力 組 織 の 育 成	関 係 機 関 と の 連 絡 調 整	情 報 提 供 ・ そ の 他
国 ・ 県	49	16		5		18	10
市 町	18	2		3			13
医 療	18	4				5	9
福 祉	23	20	1	1			1
教 育	19	11		2		1	5
労 働	4			2		2	
各種精神保健団体	1					1	
社会復帰施設等	5			1	1	2	1
司 法	5			2		1	2
そ の 他	12			6		2	4
合 計	154	53	1	22	1	32	45

(2) 教育研修

平成 24 年度は、保健所および精神保健福祉に関する諸機関の職員を対象にした研修会を 6 回開催した。

ア 精神保健福祉担当者初任者研修会

地域における精神保健福祉業務が円滑に推進されるように、関係機関の職員を対象に、相談に係る基礎知識の習得や技術の向上を図ることを目的に実施した。

	5月21日(月)	5月28日(月)
10:00 10:10~ 12:00 (11:00) (12:00)	挨拶 オリエンテーション 講義1「精神障害者に関する基礎知識」 ～理解と援助～ 講師 心の健康センター 次長 角田 雅彦	講義5「障害者自立支援法、 社会資源の活用について」 講師 心の健康センター 相談課主幹 石井 了恵 講義6「権利擁護に関する基礎知識」 講師 県障害保健福祉課 医療支援グループ 係主査 岩尾 貴
13:00~ 14:00	講義2「石川県における精神保健福祉行政 について」 講師 県障害保健福祉課 医療支援グループ 主幹 湯谷 幹恵	講義7「インテーク面接」 ～来所相談の留意点～ 講師 心の健康センター 相談課主幹 梅本 浩靖
14:00~ 15:00	講義3「精神保健福祉の動向」 講師 心の健康センター 相談課主幹 石井 了恵	講義8「ひきこもり、発達障害等の理解と支援」 講師 心の健康センター 相談課主幹 梅本 浩靖 支援課長 酒井 伸吾
15:10~ 16:10	講義4「精神保健福祉法」 ～入院形態・自立支援医療・精神保健福祉 手帳～ 講師 心の健康センター 相談課主任技師 大平 留美 庶務課主任技師 西野 邦枝 庶務課主事 沢井 章悟	グループワーク 「日頃の相談支援活動から思うこと」

イ アルコール関連問題研修会

アルコール関連問題に関する研修は、従来精神保健研修会の中に位置づけられ、昭和 57 年度より 3 年間及び昭和 61 年度、平成 2 年度に開催してきたが、平成 4 年度よりアルコール関連問題研修会として毎年行っている。

日 時	平成 24 年 11 月 1 日 (木) 13 時 30 分 ~ 16 時 30 分
場 所	石川県庁 1102 会議室
内 容	講演「あなたのお酒の飲み方、大丈夫？ ～アルコール依存症について学ぶ～」 講師 新阿武山病院 ソーシャルワーカー 坂本 満 当事者（回復者）の方による体験談
参加者	保健、福祉、司法、医療関係従事者、当事者 54 人

ウ 薬物関連問題相談担当者研修会

平成 12 年度より薬物関連問題相談指導事業が開始され、平成 18 年度より相談担当者研修会を行っている。

日 時	平成 24 年 12 月 3 日 (月) 13 時 30 分 ~ 16 時 00 分
場 所	石川県こころの健康センター研修室
内 容	講演 1「薬物依存の理解と援助 ～回復支援プログラムの現場から～」 講師 医療法人社団岡部診療所ソーシャルワーカー 西念 奈津江 講演 2「薬物依存からの回復 ～ダルクからのメッセージ～」 講師 薬物依存リハビリセンター富山ダルク施設長 林 敦也
参加者	保健、福祉、司法、医療、教育関係の相談従事者、当事者 40 人

エ 思春期精神保健関係機関研修会

思春期・青年期の不登校・ひきこもりをはじめとする心の問題に対処するために、教育・医療・保健・相談機関の職員等を対象として、子どもたちの現状や問題点、取り巻く環境などについて理解を深め、より良い援助について考えることを目的に研修を行った。

日 時	平成 25 年 2 月 17 日 (日) 10 時 ~ 16 時
場 所	石川県こころの健康センター 2 階研修室
内 容	講義 「自傷行為の理解と対応」 講師 石川県こころの健康センター 次長 角田 雅彦 (精神科医) 講義 「思春期危機と自傷行為の理解・対応について ～ソーシャルワークの視点から～」 講師 メンタル&ライフサポート長岡 心の健康相談室 室長 今井 楯男 (精神保健福祉士) 事例検討
参加者	子どもの心の問題に携わる医療、教育、保健、福祉等の関係者 73 人

オ ひきこもり訪問指導者養成講座

開催日	内 容	講 師	参加者
平成 25 年 3 月 13 日 10:00 ~ 12:00	講義 「継続した支援を考える～相談 を受ける時の基本的態度」	白梅学園大学 教授 長谷川 俊雄	29 人

カ 学生実習

講 義

学 校 名	実施日数	受講者数
金沢大学医薬保健学域保健学類	1 日	81 人
金沢工業大学大学院(臨床心理学専攻)	1 日	8 人

(3) 普及啓発

一般県民や関係者に対して、精神保健福祉や心の健康に関する理解を深め、地域社会における精神保健福祉活動の推進を図ることを目的として、講演活動や各種団体などが開催する研修会への講師派遣、「センターだより」等の発行やホームページの作成、マスコミを通じての広報活動等、普及啓発事業を実施した。

ア 主催または共催した講演会

期 日	講 演 会 名	内 容	参加者
25.2.17 (日)	思春期精神保健 関係機関研修会	講義 「自傷行為の理解と対応」 講師 石川県こころの健康センター 次長 角田 雅彦(精神科医) 講義 「思春期危機と自傷行為の理解・対応に ついて～ソーシャルワークの視点から～」 講師 メンタル&ライフサポート長岡 心の健康相談室 室長 今井 楯男(精神保健福祉士)	73 人
24.11.1 (木)	アルコール関連問題 講演会	講演「あなたのお酒の飲み方、大丈夫？ ～アルコール依存症について学ぶ～」 講師 新阿武山病院 ソーシャルワーカー 坂本 満 当事者(回復者)の方による体験談	54 人

イ 講師を派遣した講演会

	依 頼 先	内 容	回数	参加人数
国	金沢家庭裁判所	精神疾患のある当事者との窓口対応 について	1	25 人
県	少子化対策監室	研修(ミニ講座)と事例検討会	1	6 人
	消費生活支援センター	依存症について(講義、質疑応答)	1	20 人
	障害保健福祉課	市町村担当者会議(自殺と退院促進)	1	28 人
	石川県女性相談支援センター	精神障害が疑われる相談者への相談 支援について	1	20 人
保 健 所	金沢市泉野福祉健康センター	自殺予防研修会	1	60 人
	南加賀保健福祉センター	うつ病患者を抱える家族教室	1	20 人

	依 頼 先	内 容	回数	参加人数
市 町	加賀市	うつ病への理解と対応	1	150人
	七尾市	心のケア講演会	1	30人
教育	中能登町立御祖小学校	薬物乱用防止教室	1	12人
社会福 祉施設	県社会福祉協議会	保育関係とこころ	1	80人
そ の 他	ボランティアグループたんぼ ぼ	自殺予防「ゲートキーパー養成講座」 大切な命を守るために	1	30人
	看護協会	精神科訪問看護の基礎知識等	1	8人
	教育関係機関等	子どもの心のケア 児童・青年期事 例検討会	1	23人
	金沢こころの電話	社会資源の活用について	1	9人
	県高等学校保健会	講義（精神疾患の予備知識）と事例 検討	1	20人
	交通安全施設業協会	今注目されている精神疾患	1	70人
	国際ペット専門学校	精神的問題を持つ学生に対する対応 方法	1	20人
	全国ひきこもりKHJ親の会 石川県支部	ひきこもりと社会不安症	1	30人
計			19回	661人

ウ マスコミ活用

期 日	内 容	報 道 機 関
H23.4.18	東日本大震災こころのケアチームについて	新聞社1社
H23.5.14	依存症教室について	TV局1社
H23.5.16	依存症教室について	新聞者1社
H23.9.21	第59回精神保健福祉普及運動関連イベントの 記事提供	新聞社1社
H24.3.5	アディクションセミナーの記事掲載	新聞社1社

エ 普及啓発資料の作成

県下の精神保健の動向やこころの健康センターの事業の紹介を目的として発行した。

	内 容	発行部数
センター だより	第78号 特集「自殺対策」 第79号 特集「ひきこもり」	各 500部
講演録	薬物関連問題研修会	500部
パンフ レット	うつ病をご存じですか？ かけがえのない命をまもるために 相談機関 かけがえのない命をまもるために ゲートキーパー手帳 睡眠キャンペーン	5,000部 3,000部 5,000部 5,000部 3,000部
そ の 他	ゲートキーパー手帳周知ポケットティッシュ ノベルティー用マスク こころの健康と多重債務等の困りごと相談会チラシ こころの健康と多重債務等の困りごと相談会ポスター	10,000個 2,000個 8,000部 40部

オ 普及啓発資料の貸し出し

病院や地域関係機関にビデオ、パネル等の貸し出しを行っている。平成24度は17件で、県の保健福祉センターからの依頼が最多であった。

カ ホームページの更新

アドレス <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukusi/kokoro-home/kokoro/top.html>

キ 自殺予防週間キャンペーン

期 日	内 容	場 所
9月10日 ～16日	自殺予防週間キャンペーン ・自殺予防パネル、ポスター、パンフレット、 のぼり旗の設置 ・ティッシュ等の配布	J R金沢駅構内

<p>9月10日 ～ 9月16日</p>	<p>自殺予防メッセージ「あなたに伝えたい一言」 事業 ・トイレトペーパーに自殺予防メッセージを印字し右記の場所のトイレに設置した。 ・「あなたに伝えたい一言」の内容 『支え合う 温かい手が すぐ側に』 『つながる 支える ひとりじゃないよ』 『ひとりじゃないよ そばにいるよ』 『あなたが思うより ずっとあなたが 大切です』 『あなたのために そしてあなたを心配している』 『人のために相談（電話）してね 石川県こころの健康センター076-238-5761 こころの相談ダイヤル 076-237-2700』</p>	<p>金沢駅構内 金沢ターミナルビル 百番街 小松空港ターミナルビル 能登空港ターミナルビル 金沢大学（角間・宝町・鶴間キャンパス） 石川県庁（1・19階） 県立中央病院 能登北部保健福祉センター管内</p>
------------------------------	--	--

ク 障害者ふれあいフェスティバル

障害者の自立と社会参加の意欲を高め、並びに県民の障害者に対する理解と認識をより一層高めることを目的に開催される事業で、平成24年度が第17回となる。

当初、知的障害と身体障害の2障害合同形式で開催されていたものだが、平成11年度より精神障害関係団体が正式に加わり、3障害合同で開催されている。

日 時 平成24年9月16日（日）10:00～16:00

場 所 石川県産業展示館4号館

参加者 約12,000人

内 容 精神障害者関係分 展示、販売・屋台模擬店、福祉相談の各コーナ

(4) 精神保健福祉相談

平成24年度の相談（電話相談と来所相談を合わせたもの）の概要は表1、表2の通りである。相談延件数は、電話相談5,626件、来所相談1,291件であり、前年度の電話相談5,479件、来所相談1,432件に比べ、電話相談件数は微増し、来所相談は減少した。

来所相談のうち今年度初めての新来相談件数は236件であり、前年度等からの繰り越しまたは再来者は88件であった（表1）

相談区分では、その他を除くと、電話相談では、心の健康づくりが2,141件で最も多く次いでうつ・うつ状態が1,073件となっている。来所相談でも、心の健康づくりが335件と最も多く、次いで社会復帰が279件の順になっている。再掲でひきこもりは276件で前年度の177件と比べ増加している。（表2）

表1 電話相談・来所相談件数

		男	女	合計
電話相談		2,581	3,045	5,626
来所相談		856	435	1,291
新規	新来相談	143	93	236
	繰り越し・再来	51	37	88
	小計	194	130	324
継続		662	305	967
合計		3,437	3,480	6,917

件数は延件数

(参考) 相談件数の推移

年度	電話相談	来所相談	計
H20	4,353	1,177 (197)	5,530
H21	5,097	1,181 (209)	6,278
H22	7,088	1,452 (263)	8,540
H23	5,479	1,432 (238)	6,911
H24	5,626	1,291 (236)	6,917

注：（ ）は内数で新来相談件数

表2 相談区分別相談件数

		平成24年度		平成23年度		
		電話相談	来所相談 (新来)		来所相談 (新来)	
老人精神保健		59	4	(4)	2	(2)
社会復帰		114	279	(19)	262	(8)
アルコール		31	18	(2)	42	(6)
薬物		14	3	(2)	7	(5)
思春期		274	269	(63)	323	(73)
心の健康づくり		2,141	335	(54)	238	(63)
うつ・うつ状態		1,073	89	(20)	147	(18)
その他		1,920	294	(72)	411	(63)
計		5,626	1,291	(236)	1,432	(238)
再掲	ひきこもり	119	276	(47)	177	(24)
	自殺	47	16	(9)	5	(4)

件数は延件数()は新来で内数

注：思春期 = 原則として13歳～24歳の精神発達の途上にある者およびその家族からの心の悩み等の思春期精神保健に関する相談を指す。

ア 電話相談

電話相談は、当センターの代表電話番号による職員が受ける相談のほか、専用電話相談の「こころの相談ダイヤル」で受ける相談を合わせたものである。

平成24年度の相談件数(延件数)は5,626件であり、性別で見ると、男性2,581件、女性3,045件と、女性の方が464件多い(表1)。

年齢区分別では、「50～59歳」が1,455件(25.9%)と最も多く、次いで「40～49歳」が1,128件(20.0%)を占めている(表3、図1)。

相談内容別では「精神障害者の生活上の問題」が2,463件(43.8%)と最も多く、次いで「家庭内の問題」626件(11.1%)、「対人関係上の悩み」570件(10.1%)の順となっている(表4、図2)。

処遇としては、「傾聴・助言」が5,181件(92.0%)と最も多く、次いで「こころの健康センター(来所相談)へ紹介」が237件(4.2%)、「他機関紹介」が185件(3.3%)となっている(表7)。

イ 来所相談

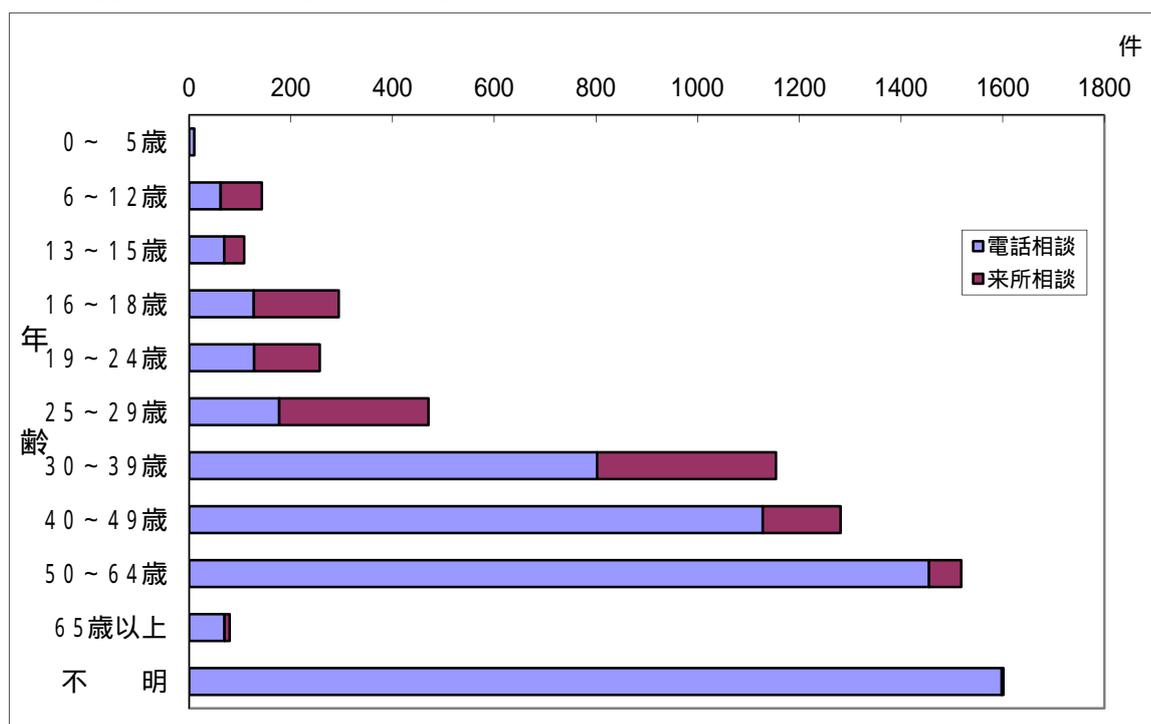
来所相談は原則として予約制をとっているが、本人または家族・関係者が直接窓口に来所した場合も対応している。

表3 電話相談・来所相談の年齢別状況

年齢区分	相談区分				合計	
	電話相談		来所相談		件数	%
	件数	%	件数	%		
0～5歳	10件	0.2%	0件	0.0%	10件	0.1%
6～12歳	62	1.1	81	6.3	143	2.1
13～15歳	69	1.2	39	3.0	108	1.6
16～18歳	127	2.3	167	12.9	294	4.3
19～24歳	128	2.3	129	10.0	257	3.7
25～29歳	177	3.1	294	22.8	471	6.8
30～39歳	802	14.3	352	27.3	1,154	16.7
40～49歳	1,128	20.0	153	11.9	1,281	18.5
50～64歳	1,455	25.9	63	4.9	1,518	21.9
65歳以上	70	1.2	10	0.8	80	1.2
不明	1,598	28.4	3	0.2	1,601	23.1
合計	5,626	100.0	1,291	100.0	6,917	100.0

件数は延件数

図1 電話相談・来所相談の年齢別状況



来所相談は、通常の業務の中で相談課職員が対応している。必要に応じ所長または囑託医（精神科医）の診察を実施している。

平成 24 年度の相談件数(延件数)は 1,291 件と平成 23 年の 1,432 件より若干減少した。

年齢区分別では、30～39 歳が 352 件（27.3%）と最も多く、次いで 25～29 歳が 294 件（22.8%）となっている。20 代までの相談が 710 件（54.9%）を占めており、65 歳以上の相談は 10 件(0.8%)と非常に少ない。（表 3、図 1）

相談内容別では、「性格・行動上の悩み」が 249 件（19.3%）と最も多く、次いで「ひきこもり」が 236 件（18.3%）、「社会復帰・デイケアの問題」197 件（15.3%）、「不登校・学校不適應」180 件（13.9%）と続いている（表 4、図 2）

新来相談の来所経路は、男女ともホームページや口コミにより「直接」来所してくる場合が 155 件と一番多い。次いで「施設・学校」25 件、「ハローワーク」12 件、の順になっている（表 5）

診断別件数では、医師の診察を必要としなかったり、診断保留の状態で継続的な関わりを続けている相談が 666 件（51.6%）と最も多い。診断された方では、統合失調症が 217 件（16.8%）、気分障害が 190 件（14.7%）、神経症 106 件（8.2%）となっている（表 6）。

処遇としては、「継続面接」が 854 件と最も多く、次いで「助言」の 213 件となっている。相談後、他機関に紹介した延べ件数は 81 件で、主な紹介先として「医療機関（主に精神科）が延べ 61 件と最も多い（表 8）。

図2 電話相談・来所相談の相談内容別状況

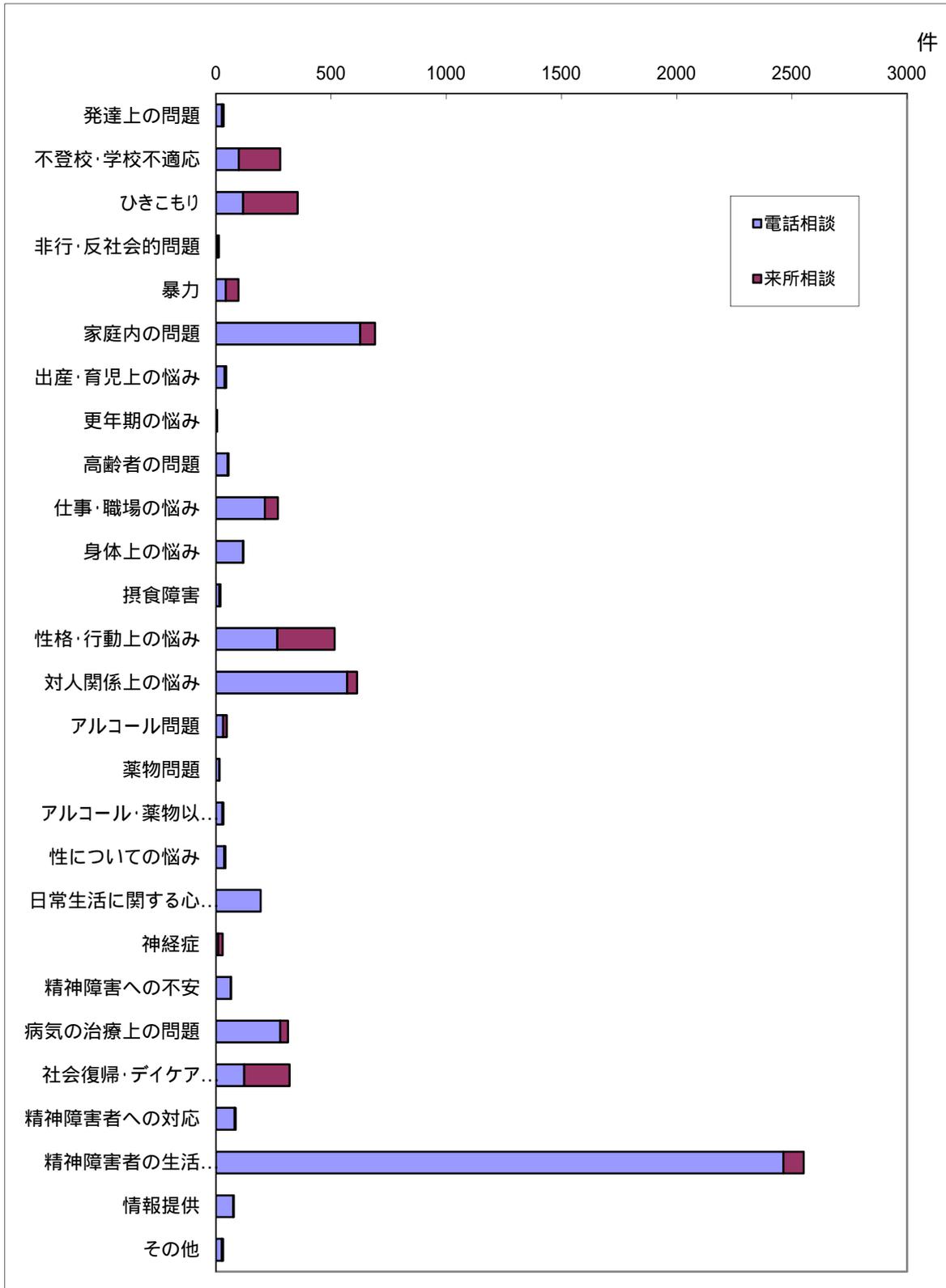


表4 電話相談・来所相談の相談内容別状況

相 談 内 容	相 談 区 分				合 計	
	電 話 相 談		来 所 相 談		件数	%
	件数	%	件数 (実)	%		
発 達 上 の 問 題	27 件	0.5 %	7 件 (5)	0.5 %	34 件	0.5 %
不 登 校 ・ 学 校 不 適 応	99	1.8	180 (44)	13.9	279	4.0
ひ き こ も り	119	2.1	236 (50)	18.3	355	5.1
非 行 ・ 反 社 会 的 問 題	8	0.1	5 (4)	0.4	13	0.2
暴 力	43	0.8	55 (14)	4.3	98	1.4
家 庭 内 の 問 題	626	11.1	65 (26)	5.0	691	10.0
出 産 ・ 育 児 上 の 悩 み	38	0.7	7 (2)	0.5	45	0.7
更 年 期 の 悩 み	5	0.1	0	0.0	5	0.1
高 齢 者 の 問 題	52	0.9	3 (3)	0.2	55	0.8
仕 事 ・ 職 場 の 悩 み	212	3.8	57 (33)	4.4	269	3.9
身 体 上 の 悩 み	118	2.1	1 (1)	0.1	119	1.7
摂 食 障 害	16	0.3	4 (2)	0.3	20	0.3
性 格 ・ 行 動 上 の 悩 み	267	4.7	249 (33)	19.3	516	7.5
対 人 関 係 上 の 悩 み	570	10.1	43 (10)	3.3	613	8.9
ア ル コ ー ル 問 題	31	0.6	16 (5)	1.2	47	0.7
薬 物 問 題	14	0.2	2 (2)	0.2	16	0.2
ア ル コ ー ル ・ 薬 物 以 外 の 依 存	28	0.5	5 (4)	0.4	33	0.5
性 に つ い て の 悩 み	36	0.6	5 (1)	0.4	41	0.6
日 常 生 活 に 関 す る 心 配 ・ 不 安	194	3.4			194	2.8
神 経 症	10	0.2	19 (6)	1.5	29	0.4
精 神 障 害 へ の 不 安	65	1.2	1 (1)	0.0	66	1.0
病 気 の 治 療 上 の 問 題	279	5.0	34 (23)	2.6	313	4.5
社 会 復 帰 ・ デ イ ケ ア の 問 題	123	2.2	197 (31)	15.3	320	4.6
精 神 障 害 者 へ の 対 応	81	1.4	5 (3)	0.4	86	1.2
精 神 障 害 者 の 生 活 上 の 問 題	2,463	43.8	88 (15)	6.8	2,551	36.9
情 報 提 供	76	1.4	2 (2)	0.2	78	1.1
そ の 他	26	0.5	5 (4)	0.4	31	0.4
合 計	5,626	100.0	1,291 (324)	100.0	6,917	100.0

件数は延件数(実件数)

表5 新来相談の経路別状況

経路	性別		合計
	男	女	
直接	90 件	65 件	155 件
医療機関（精神科）	8	3	11
医療機関（一般科）	0	2	2
県保健福祉センター・金沢市福祉健康センター （保健所）	3	4	7
児童相談所	2	1	3
県保健福祉センター・金沢市福祉健康センター （福祉事務所）	1	0	1
児童・民生委員	0	0	0
施設・学校	16	9	25
ハローワーク （職業安定所・ジョブカフェ石川）	8	4	12
警察	1	0	1
県庁・市町役場	3	2	5
その他の相談機関	2	2	4
こころの相談ダイヤル	2	0	2
その他の電話相談	1	0	1
センター事務所電話相談	0	0	0
その他	6	1	7
合計	143	93	236

件数は延件数

表6 来所相談の診断別状況

診断名	来所者区分		継 続 件数	合 計	
	新 来 相 談 件数	繰り越し・再来 件数		件数	%
症状性を含む器質性精神障害	1 ^件	0 ^件	0 ^件	1 ^件	0.1 [%]
精神作用物質使用による 精神及び行動の障害	2	0	0	2	0.2
統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	23	18	176	217	16.8
気分(感情)障害	29	13	148	190	14.7
神経症性障害、ストレス関連障害 及び身体表現性障害	10	6	90	106	8.2
生理的障害及び身体的要因に関連した 行動症候群	0	0	0	0	0.0
成人の人格及び行動の障害	1	0	1	2	0.2
知的障害 精神遅滞	2	1	0	3	0.2
心理的発達の障害	7	3	45	55	4.3
小児期及び青年期に通常発症する 行動及び情緒の障害	3	1	17	21	1.6
特定不能の精神障害	1	0	0	1	0.1
てんかん	0	1	2	3	0.2
非定型精神病	0	0	2	2	0.2
ナルコレプシー	1	3	4	8	0.6
その他	2	2	1	5	0.4
未診断・診断保留	148	40	478	666	51.6
異常なし	6	0	3	9	0.7
	236	88	967	1,291	100.0

件数は延件数

表7 処遇別相談件数(電話相談)

区 分	傾聴・助言	センター (来所相談) へ紹介	他機関紹介	その他	再連絡	合 計
件 数	5,181	237	185	12	11	5,626
%	92.0%	4.2%	3.3%	0.2%	0.2%	100%

件数は延件数

表8 処遇別相談件数(来所相談)

処遇状況		来所者区分		継 続	合 計
		新 来 相 談	繰り越し・再来		
助	言	148 件	17 件	48 件	213 件
診	察	19	3	20	42
特殊 援助	継続面接(又は治療)	62	47	745	854
	デ イ ・ ケ ア	3	20	151	174
	そ の 他	4	1	3	8
合 計		236	88	967	1,291
(再掲)診断書発行		1	0	2	3
(再掲) 紹介	医 療 機 関	45	2	14	61
	保 健 所	1	0	0	1
	福 祉 関 係	4	1	0	5
	教 育 機 関	0	0	2	2
	そ の 他	9	1	2	12
	計	59	4	18	81

件数は延件数

(5) 特定相談指導事業

ア アルコール関連問題相談・薬物関連問題相談事業

(ア) 相談状況

表1 相談状況

区 分	来 所 相 談			電 話 相 談
	計	男	女	計
アルコール問題	16 (5)	3 (3)	13 (2)	31
薬 物 問 題	2 (2)	1 (1)	1 (1)	14
アルコール ・薬物以外	5 (4)	4 (3)	1 (1)	28
計	23 (11)	8 (7)	15 (4)	73

件数は延人数（実人数）

(イ) アルコール関連問題研修会・薬物関連問題相談担当者研修会

* 研修内容については P16 参照

イ 思春期相談指導事業

(ア) 相談状況

表2 思春期相談件数（相談対象者が13歳～24歳の相談を指す）

区 分	男	女	合 計
電 話 相 談	191 件	126 件	317 件
来 所 相 談	127	244	371
合 計	318	370	688

件数は延件数

(イ) 思春期精神保健関係機関研修会

* 研修内容については P16 参照

(6) 組織育成

平成 24 年度に、当センターが直接かかわりをもった組織は、依存症自助グループ(石川県断酒連合会、A A、アラノン、家族の回復ステップ 1 2、G A 等)、精神障害者家族会(石川県精神障害者家族会連合会)、石川県精神保健福祉協会、石川県精神障害者支援事業所連絡協議会、石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会の各団体である。

それぞれに対するかかわりの回数、参加人数は表 1 のとおりである。

表 1 協力組織へのかかわり

対 象	回 数	参加人数
石 川 県 断 酒 連 合 会	6	10
A A グ ル ー プ 等	15	205
小 計	21	215
石 川 県 精 神 障 害 者 家 族 会 連 合 会	6	284
石 川 県 精 神 保 健 福 祉 協 会	34	868
石 川 県 精 神 障 害 者 支 援 事 業 所 連 絡 協 議 会	1	40
石 川 県 メ ン タ ル ヘ ル ス ボ ラ ン テ ィ ア 連 絡 協 議 会	3	69
小 計	45	1,261
合 計	65	1,476

ア 依存症自助グループ

(ア) 石川県断酒連合会

石川県断酒連合会は、昭和 44 年「北陸断酒新生会」として結成され、昭和 58 年「石川県断酒連合会」に名称が変更された。昭和 56 年以降、当センターは例会の会場を月 1 回提供し、職員が参加していたが、その後は、独自で例会を開催してきた。

平成 23 年度末で「石川県断酒連合会」は解散されたが、金沢市、七尾、小松の各地域の断酒会は活動を継続している。当センターとしては日頃の情報交換を通して活動支援を行なっている。

(イ) A A 等

石川県では昭和 63 年に A A 金沢グループが誕生し、現在は 7 グループが 20 ヶ所で活動している。職員が日頃の情報交換や、オープンスピーカーズミーティング、オープンステップミーティングに参加することで、活動支援を行なっている。

イ 精神障害者家族会

(ア) 石川県精神障害者家族会連合会（石家連）

精神障害者家族会は昭和48年6月頃より石川県内の保健所単位に地域家族会として結成され、10家族会（会員数約400人）をもって昭和49年2月に連合会として発足した。

その後、地域家族会の統合を経て平成24年度現在では13地域家族会と2病院家族会、1施設家族会で連合会を組織し、会員は250名である。

表2 石家連へのかかわり

内 容	回 数	参加人数
総会と講演会	2	101
精神障害者家族会と病院長等との懇談会 精神保健福祉協会との共催	1	81
行政との懇談会	1	81
常務理事会、理事会等	1	5

(イ) 地域家族会

地域家族会の育成援助は必要に応じて助言支援を行っている。

ウ 石川県精神障害者支援事業所連絡協議会

平成5年度から県内の精神障害者小規模作業所指導員の研修の場として、石家連の中に作業所部会を設けて、作業所運営の検討、アンケート調査の実施、パンフレットの作成等の活動を行ってきた。

平成7年度作業所数が大幅に増加し、従事する指導員数も多くなってきたことから、平成8年5月に県内の小規模作業所で組織する石川県精神障害者支援事業所連絡協議会が発足し、石家連から分離して月1回の例会や、役員会、勉強会等の活動を行っている。

平成24年度、県内の精神障害者支援事業所（17ヶ所）が参加している。また、作品展を県庁展望ロビーにおいて開催、石川県障害者ふれあいフェスティバルでは、各事業所の製品販売を行った。当事者への支援力向上を図るため、研修を行っている。

エ 石川県精神保健福祉協会

昭和 35 年 10 月に石川県精神衛生協会が結成され、平成 3 年 6 月、名称を石川県精神保健協会、平成 10 年 6 月に石川県精神保健福祉協会と改めている。平成 24 年度会員は、個人会員 197 名、団体会員 26 団体、特別会員 12 病院となっている。

表 3 精神保健福祉協会へのかかわり

期 日	内 容	対 象	人 数
24. 5. 11	表彰審査委員会	委員	6 人
24. 4. 14 ~ 25. 3. 1 まで	こころの健康づくり講師派遣事業	地域、学校、職域等の団体	8 回 254 人
24. 4. 1 ~ 25. 3. 31 まで	〃 の受付等	〃	10 回 10 人
24. 5. 25	理 事 会	理事、監事等	6 人
25. 3. 13	〃	〃	13 人
24. 6. 16	総 会	会員、関係者等	81 人
〃	精神保健講演会 「自殺予防対策の進め方：課題、実践、そして検証」 横浜市立大学教授 河西 千秋	会員、一般	95 人
24. 7. 1	精神科看護職員等研修会	病院関係者	82 人
24. 11. 15	精神障害者家族会と病院長等との懇談会 「精神科治療について」 こころの健康センター次長 角田 雅彦	関係機関職員、一般	81 人
24. 12. 3	地域精神保健福祉研究会 「薬物関連問題研修会」	病院長等、家族会、 行政、保健所	40 人
25. 2. 2	精神保健福祉研究会 「職場におけるメンタルヘルス」 司会 松原愛育会 松原 三郎 「成長支援のメンタルヘルス」 講師 筑波大学教授 松崎 一葉	会員、一般	102 人
25. 2. 17	思春期精神保健研修会	関係機関職員、一般	73 人
24. 12. 6	産業と精神保健専門委員会	委員	6 人
25. 3. 14	〃	委員	4 人
25. 2. 20	会報編集委員会	委員	6 人
24. 9. 25	教育と精神保健専門委員会	委員	4 人
24. 10. 18	〃	委員	4 人
25. 3. 17	教育と精神保健専門委員会 「人との関係を育むピア・サポート」	教育関係者	14 人

計 34 回

881 人

オ 石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会

昭和 63 年に当センターでメンタルヘルスボランティア講座が開催された。引き続き保健所が中心となって地域住民に対し、継続的に教育が行われており、ボランティアを志す人達がグループを作って積極的な活動がなされるようになった。平成 11 年に連絡会が開催され、平成 13 年度に「石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会」が発足。平成 24 年度には県内のグループ数は 8 となっている。

(7) 在宅精神障害者社会復帰促進事業(田園クラブ)

昭和56年12月より通院治療中の在宅精神障害者(主として統合失調症)を対象にデイ・ケアの一環として開始し、話し合いや料理、スポーツ、レクリエーション、手工芸などの活動を通じて、対人関係の改善、社会性や生活技能の向上を図ることを目的にグループ活動を行っている。

当活動の変遷は、平成2年に自主活動のソーシャルクラブを立ち上げ、毎週水曜日に活動を行ってきた。後自助グループ活動「アクティブ」として、就労仲間も参加しやすいように第2日曜日も開催した。しかし、平成10年度には新規メンバーが少なく参加しないことから活動を休止している。

当事業は、平成17年自立支援法による地域生活支援事業所「地域活動支援センター」の増加や医療機関によるデイ・ケアの増加により、当初の目的である社会性や生活技能の向上を図る役割は、他機関において充実してきた。

そこで今年度で終了することとし、対象者及び家族に対する個別相談を強化し、施設見学や家族教室を充実した支援を行った。

ア 実施状況

表1 田園クラブ実施状況

実施回数	実施頻度	実人数	延人数	一回あたりの参加人数
100回	週2回	23人(男16人) (女7人)	711人	7.1人

表2 年齢別参加者状況

25~29歳	30~39歳	40~45歳	45~49歳	計
7人	10人	6人	0人	23人

表3 来所経路別参加者数

直接	公的病院からの紹介	私立病院からの紹介	学校からの紹介	計
8人	6人	9人	0人	23人

表4 保健所管内別参加者数

石川中央	河北地域センター	金沢駅西	金沢泉野	金沢元町	県外	計
4人	2人	7人	7人	3人	1人	23人

表5 参加者の他機関利用状況

就労 アルバイト	地域活動支援センター 就労移行支援B型	社会適応訓練	利用なし	その他	計
3人	7人	1人	11人	1人	23人

表6 プログラム別実績

内 容	作 業 療 法						レクリエーション 療法				集 団 活 動						個 別 相 談	合 計	
	クラフト	料理・お菓子作り	園芸	茶道・書道	フラワーアレンジメント	小計	スポーツ	季節行事	マイフェバリットミュージック	小計	話し合い	所外活動	コミュニケーション講座	知りたいことセミナー	施設見学	その他			小計
実施回数 (1単位2h)	23	39	1	1	1	65	13	7	7	27	14	79	12	2	8	8	135	12	459
参加者	107	106	6	7	6	232	71	54	56	181	74	442	49	9	54	49	778	101	1191

イ 家族へのかかわり

平成24年度は全体の家族教室を3回実施。教室後に担当スタッフと家族による個別懇談会を行った。

月 日	内 容	参加者数
平成24年 6月14日(木) 13:30~16:00	・田園クラブ終了についての説明と質疑 ・家族同士の話し合い	11人
平成24年 9月13日(火) 13:30~16:00	・施設、事業所に関する情報交換&見学希望の取りまとめ ・家族同士の話し合い	5人
平成25年 1月24日(木) 13:30~16:00	・「田園クラブ活動をふりかえて」 講師 関京子氏(作業療法士) ・家族同士の話しあい	9人

(8) 青年期心の健康づくり推進事業(ひきこもり相談支援事業)

青年期のいじめや家庭内暴力、不登校、ひきこもりなどが社会問題化してきている中で、平成13年4月から、県全体の取り組みとして当該事業が始められた。

当該事業は、青年期の問題のうち主にひきこもりや不登校を対象とし、総合的な対応を行うために、地域の保健所や関係機関と連携を取りながら、今年度初めてアウトリーチとして訪問相談支援等以下の活動を行った。

ア 個別相談

専用の相談窓口、相談日を設けることなく、随時相談に応じている。

表1 ひきこもり・不登校相談件数

区 分	件数(延)
電 話 相 談	119 件
来 所 相 談	276 件
訪 問 相 談	3 件
合 計	398 件

相談の背景にひきこもり状態があるものを含む

イ ひきこもり家族教室

目的：ひきこもり・不登校で悩む家族が、よりよい対応ができるよう、ひきこもりについての知識・理解を深める。

対象：ひきこもり・不登校で悩んでいる家族

表2 家族教室の開催状況

回 数	日 時	内 容	参加人数
第1回	平成24年12月6日	講義「ひきこもりの理解と対応」	23人
第2回	平成25年3月13日	講義「不登校・ひきこもりの子どもに親ができること J-POP に寄せて～」	29人
合 計			延べ52人

ウ ひきこもり家族交流会

目的：ひきこもり・不登校の問題で悩む家族が継続的に集まって交流し、支援しあうことによって、家族自身が力を高めていく

対象：社会的ひきこもりの若者を持つ家族で、当センターでの青年期心の健康づくり事業「ひきこもり家族教室」に参加経験のある家族

内容：1回の時間は2時間として、ウォーミングアップ（気分調べ）をした後、家族同士の話し合いを行った。

2～3人の職員が参加し、家族の自主的な話し合いができるように援助し、必要に応じて情報提供を行った。

表3 家族交流会の開催状況

回数	日時	参加家族数
第1回	平成24年6月15日	1家族1人
第2回	平成24年8月20日	7家族9人
第3回	平成24年10月22日	7家族7人
第4回	平成24年12月17日	2家族3人
第5回	平成25年3月4日	2家族2人

エ ひきこもり当事者グループ（悠友クラブ）

目的：ひきこもりなど対人関係で悩む人に安心して過ごせる場を提供し、対人交流を通して自信の回復と対人技術の向上を図る。

対象：明らかな精神疾患や発達障害が背景にない、概ね18歳から35歳までの者

日時：毎月第2、第3、第4水曜日13:30～15:30の2時間

回数：年35回

参加者：実人数19人（男性19人女性0人）延べ163人

定員：10名程度

内容：お菓子作り、スポーツ、ビデオ鑑賞など参加者が話し合いによって決める

オ ひきこもり訪問指導者養成講座

目的：ひきこもりに悩む人やその家族に対して、相談や訪問などを通して支援を行う「訪問支援者」を養成する。

対象者：ひきこもり支援に携わる関係機関職員、ひきこもりを経験し克服した若者や家族、及びボランティア等のうち、ひきこもり支援活動に携わる意欲のある者。

* 研修内容についてはP17を参照

カ ひきこもり対策地域ネットワーク会議（全体会議）

目的：ひきこもり支援に携わる関係機関の連携を深めるとともに、よりよい支援体制の構築に向けて共通理解をはかる。

参加者：医療、保健、福祉、教育、就労関係機関の職員 25名

日時：平成25年2月25日 9時30分～12時00分

会場：こころの健康センター 研修室

内容：各機関におけるひきこもり支援の状況
意見交換

キ ひきこもり支援シンポジウム

目的：県内におけるひきこもり支援の実態とその活動報告及びNPO法人の実践から今後の支援策について検討する

参加者：一般 49名

日時：平成25年2月25日 13時15分～15時30分

会場：こころの健康センター 研修室

内容：シンポジウム

「地域におけるひきこもりへの支援活動～10人10色の支援から～」
講演

「共同生活を通じての支援」

講師：NPO法人北陸青少年自立援助センター

Peaceful House はぐれ雲 現場リーダー江川貴浩

(9) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業

平成 13 年 10 月の DV 防止法の施行に先立ち、平成 13 年 4 月から暴力を止めたい男性が相談できる場所として、個別相談窓口を開設している。

表 1 DV 個別相談件数

区 分		計	面接相談	電話相談
DV に関する相談件数		53 件	17 件 (5)	36 件
相談者内訳	加害男性	19 件	15 件 (3)	4 件
	加害女性	1 件	0 件	1 件
	被害女性	29 件	2 件 (2)	27 件
	被害男性	1 件	0 件	1 件
	加害男性の家族等	0 件	0 件	0 件
	被害女性の家族等	1 件	0 件	1 件
	その他	2 件	0 件	2 件

() は実件数

(10) 自殺予防対策推進事業

平成 10 年より自殺者数が急増しており、自殺の予防対策として自死遺族交流会及びこころの緊急支援事業を実施した。

ア 自死遺族交流会

家族を自殺で亡くした方達が、苦しい気持ちを語りあったり、傾聴し、互いに支え合ったりしていく場として、平成 18 年 11 月より「自死遺族交流会」を開催している。

日 時 奇数月の第 1 土曜日 14:00 ~ 16:00
場 所 金沢市内
実施回数 6 回
参加人数 実 8 人 延べ 22 人

イ こころの緊急支援事業

石川県こころの緊急支援事業では、県内の学校で重大な事件事故が起こった際、CRT(クライシスレスポンスチーム)を派遣し、子どもたちに「こころのケア」を行う学校を側面から支援するものです。

全国では平成 15 年山口県でスタートし、現在 6 県が実施しており、石川県は平成 21 年 9 月から取り組んでいる。

C R T派遣業務概要

目的	学校で危機的な事件事故が発生した場合、C R Tを派遣することにより、二次被害の拡大防止とこころの応急処置を行う
対象	石川県内の小・中・高等学校及び特別支援学校等に所属する子ども達の多くが心に傷を受ける可能性がある事件・事故等
派遣メンバー	石川県こころの緊急支援チームに登録された専門家数名（精神科医、臨床心理士、精神保健福祉士、保健師等）
支援内容	二次被害の拡大防止とこころの応急処置 被害評価とケアプラン策定の手助け 教職員への助言、心理的サポート 保護者への心理教育 子どもと保護者への応急対応 その他
派遣期間	3日間以内
派遣依頼方法	所轄の教育委員会または当該学校長からC R T専用電話で派遣要請 専用電話 080 - 2951 - 5574 * 派遣要請は24時間受け付けるが、個人からの依頼には対応しない。事業の詳細に関する問い合わせ：石川県こころの健康センター相談課
派遣の判断基準	派遣対象となる事件・事故の規模は、表「学校危機のレベル」で中規模（レベル 弱から ）。ただし、同じような事例に見えても子ども達が受ける衝撃度は異なるので、問い合わせた上で判断。
受け入れについて	・ 経費の負担なし。 ・ 食事など身の回りの心配不要。 ・ 専用の控え室の用意。

ウ 自殺危機初期介入技術研修

地域のあらゆる分野の関係者に、自殺危機を察知し、未然に自殺を防ぐことができる技術を身につけ、自殺予防ゲートキーパー（門番）になっていただけるよう、各圏域毎に自殺危機スキル研究会認定講師による自殺危機初期介入スキルワークショップを開催した。

また、今後地域で講師として活動して下さる方を養成するための、自殺危機初期介入技術リーダー養成研修を行った。

参加状況

(単位：人)

地区	実施日	司法書士	市 町				県			病 院			警察	職 安	消 防	福 祉 事 業 所 等	計
			保 健 師	事 務	カ ー 等	ソ ー シ ャ ル ワ ー ク ー	看 護 師	保 健 師	カ ー 等	ソ ー シ ャ ル ワ ー ク ー	看 護 師	カ ー 等					
石川中央	4月19日		2	5		1	1	1		4	1	2				2	19
南加賀	4月18日		3	1	4		1	4		1	3					1	18
能登北部	8月6日		2	6	2		2	1		3	1		2			2	21
能登中部	8月7日		2	9	2			1		3	1			1		2	21
金沢	9月14日	2		1	4		1	3		2	1	2				3	19
リーダー	9月25日		2		3		2	1		1						4	13
計		2	11	22	15	1	7	11		14	7	4	2	1	14	111	

エ アルコール・薬物、ギャンブル依存症教室

アルコール・薬物、ギャンブル等の依存と自殺には密接な関係があると指摘されている。

平成22年度よりアルコール・薬物、ギャンブル依存症者、家族、支援者等に対し、依存症に対する理解を深め、対応を身につけ適切な支援を行えるようになることを目的として依存症教室を行っており、平成24年度は6回開催した。

参加人数

(単位：人)

開催日	テーマ	ギャンブル 依存症教室 (10:00～12:00)	アルコール・薬物 依存症教室 (13:00～15:00)	計
5月14日	依存症って何？	19	33	52
7月9日	なぜ、やめられないのか	19	40	59
9月10日	回復のために何ができるのか	26	36	62
11月12日	どうしたらやめられるのか	16	32	48
1月21日	アディクションの問題から 周囲が受ける影響	14	24	38
2月18日	依存症に伴う困難	17	28	45
計		111	193	304

場 所 石川県こころの健康センター 2階研修室

講 師 新阿武山クリニック ソーシャルワーカー 西川 京子

オ 依存症教室事例検討会

平成 24 年度よりアルコール・薬物、ギャンブル依存症者や家族を支援する関係者と事例検討会を実施している。

実施回数	開催日	参加人数
1 回	5 月 14 日	6 人
2 回	7 月 9 日	8 人
3 回	9 月 10 日	9 人
4 回	11 月 12 日	5 人
5 回	1 月 21 日	3 人
6 回	2 月 18 日	7 人
計		38 人

場 所 石川県こころの健康センター 2 階研修室
講 師 新阿武山クリニック ソーシャルワーカー 西川 京子
こころの健康センター精神科医師 角田 雅彦

カ こころの健康と多重債務などの困りごと相談会

平成 23 年度に引き続き「こころの健康と多重債務などの困りごと相談会」を実施した。平成 23 年度は能登地区（会場：七尾市パトリア）で実施したので、平成 24 年度は金沢地区及び加賀地区で開催した。

金沢地区は平成 25 年 3 月 3 日（日）にイオンもりの里店で、加賀地区は平成 25 年 3 月 9 日（日）にアビオシティ加賀で実施した。

金沢地区においては、金沢市、NPO 法人金沢あすなろ会、財団法人メンタルケア協会北陸事務所の共催、加賀地区においては、加賀市、貧困のない健全な市民社会をつくる北陸会議、NPO しあわせの輪グループの共催、両会場では、ほっとの会、ひまわりの会、金沢こころの電話、子ども夢フォーラムの協力により開催した。

医師、保健師、看護師、弁護士、司法書士、上記相談支援活動団体会員、市職員、県職員（障害保健福祉課及びこころの健康センター）が相談にあたる他、来場者にちらしやパンフレットを配付した。他に看護師による血圧測定、アルコール体質判定検査、ストレスチェックを行った。

こころの健康に関する相談は、金沢地区で 4 件、加賀地区で 4 件、高齢者生活相談が金沢地区で 1 件、加賀地区で 32 件、弁護士相談が加賀地区で 1 件、健康相談（アルコール体質判定検査、血圧測定、睡眠チェック、ストレスチェック等）が金沢地区で 60 件、加賀地区で 54 件であった。相談合計件数は、金沢地区で 65 件、加賀地区で 91 件であった。

キ うつ病家族教室

自殺予防週間の一環として、うつ病の家族が、患者へのよりよい対応ができるよう、病気についての知識・理解を深めることを目的とし、今年度初めてうつ病家族教室を開催した。教室後個別相談を希望する家族が5人あった。

開催日時：平成24年9月27日（水）13時30分～15時

場 所：石川県こころの健康センター 研修室

講 師：石川県こころの健康センター次長 角田雅彦

内 容：うつ病の理解と対応

相 談 者：28人

個別相談：5人

ク 自殺予防週間特別講演会及び民間団体による合同相談会

自殺予防週間の一環として、平成24年度に初めて、民間団体と県障害保健福祉課と共催し「つながる・ささえる・ひとりじゃないよ」をスローガンに以下の事業を実施した。

開催日時：平成24年9月14日（金）13時00分～16時30分

場 所：石川県地場産業振興センター本館大ホール

内 容：第1部 特別講演

演題「こころのサインに気づく、つなげる」

講師 国立大学法人 筑波大学医学医療系教授 高橋 祥友

第2部 活動報告

「つながる・ささえる・ひとりじゃないよ」

報告者 公益社団法人金沢こころの電話

財団法人メンタルケア協会北陸事務所

NPO 法人金沢あすなる会・子ども夢フォーラム・ほっとの会

助言者 国立大学法人 筑波大学医学医療系教授 高橋 祥友

司 会 石川県こころの健康センター次長 角田雅彦

合同相談会の開催（こころの健康コーナー、多重債務等コーナー）

講演会等参加者：150人

相談会相談者：こころの健康コーナー：4件、多重債務等コーナー：4件

(11) 子どもの心のケア推進事業

近年、ひきこもりや小児うつ、摂食障害、発達障害など様々な子どもの心の問題について、保護者はもとより保育所や学校においてもその対応に苦慮している。

そこで、子どもの心の問題に対し、医療・教育・保健・福祉の各分野が同じ認識のもとで連携し、子どもの健全な成長と発達を見守り続けることができる支援体制づくりを目標に平成20年度から取り組んでいる。

子どもの心の問題について地域で安心して相談できる、また医療と教育がより連携できる体制づくりを目指し、各事業を実施した。

ア 子ども心のケア支援事業

発達障害やうつ病的疾患及び摂食障害等の子どもの心の健康問題について、子どもや家族等に対する確で継続的な支援を行うことを目指し、医療・教育・保健・福祉の関係機関や関係団体等が連携した支援を行うためのネットワークを構築する。

会議名	事業主体	出席者	実施内容
ケアネットワーク事業検討会（2回）	県少子化対策監室	医療・教育・保健・福祉の実務担当者等	事業概要 事業の進捗状況について 25年度計画について

イ 子ども心のケア・相談事業

子どもの心の問題で悩む家族や関係者が安心して相談でき、的確な支援機関を紹介するなどコーディネート機能を充実する。電話や来所面接による個別相談を実施。

電話相談（延）

年代	性別	件数(延)	相談者内訳		
			父	母	その他
幼 児	男	3	0	3	2
	女	3	0	3	2
小学生	男	20	2	16	2
	女	23	1	20	7
中学生	男	23	3	23	2
	女	31	5	23	5
高校生	男	25	5	17	3
	女	57	5	26	22
その他	男	1	0	1	0
	女	1	0	1	0
計	男	72	10	60	9
	女	115	11	73	36
合 計		187	21	133	45

来所・出張相談

年代	性別	件数 (実)	件数 (延)	相談内訳(重複あり)				出張 (実)
				父	母	本人	その他 ²	
幼 児	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
小学生	男	5	7	1	6	5	3	0
	女	7	43	0	40	35	3	1
中学生	男	7	8	1	8	5	1	0
	女	8	23	3	22	7	0	1
高校生	男	14	54	6	42	44	1	0
	女	17	43	6	32	36	3	1
その他 ¹	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	7	7	0	7	0	0
計	男	26	69	8	56	54	5	0
	女	33	116	16	94	85	6	3
合 計		59	185	24	150	139	11	3

1：義務教育後高校等に在籍していないもの

2：学校、その他の家族、医療機関など

来所相談内容(実)

年代	不登校 (不適応)	ひきこ もり	発達上の 問題	性格・ 行動	いじめ・子 どもの不安	非行	症状 (チック、 解離など)	身体上の 悩み	合計
幼 児	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生	4	0	4	2	1	0	1	0	12
中学生	11	0	1	0	0	1	2	0	15
高校生	17	1	1	6	1	0	5	0	31
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	32	1	6	8	2	1	9	0	59

来所経路(実)

年代	直 接	医療機関か らの紹介	学校から の紹介	その他	合計
幼 児	0	0	0	0	0
小学生	7	0	4	1	12
中学生	12	0	1	2	15
高校生	20	1	9	1	31
その他	1	0	0	0	1
合計	40	1	14	4	59

処遇状況（実）及び他機関との連携状況

年代	対応について助言	継続面接	他機関へ紹介 （病院等）	合計	他機関との連携状況 （連携先：医療機関、児童 相談所、学校、市町教育セ ンター）
幼 児	0	0	0	0	0
小学生	4	8	0	12	7
中学生	8	7	0	15	2
高校生	17	14	0	31	5
その他	0	1	0	1	0
合計	29	30	0	59	14

ウ 子ども心の支援事例検討会

目 的：支援内容の検討及び情報共有により、子どもへの総合的な支援を実施。

子ども心を診る専門医や専門家、携わる関係者の育成強化をはかる。

参集者：子ども心の問題に携わる医療・教育・保健・福祉関係者

会議名	開催回数	参加者	実施内容
未 就 学 児・学童期 事 例 検 討 会	年 5 回 （こころの健康 センター）	延 7 3 人 （保育関係）	助言者： 医王病院 大野 一郎 こころの健康センター 所長（精神科医師） 支援課長（心理職） 日野 和美（保育士）
児童・青年 期 事 例 検 討 会	年 5 回 （こころの健康 センター）	延 1 0 8 人 （教育関係）	助言者： ほんだクリニック院長 本田 徹 栗津神経サナトリウム 森 省二
精神科医 師等事例 検討会	年 5 回 （こころの健康 センター）	延 5 6 人 （医療関係）	助言者： ほんだクリニック院長 本田 徹 栗津神経サナトリウム 森 省二

エ 気になる子どもへの早期介入検討会（専門保育士支援事例検討会・専門家事例検討会）

保育所等で気になる子に対して、関係者が共通理解のもとで適切な対応・支援がすすめられるように、専門家がチームで保育所等へ出向き、事例検討を行い対応を一緒に考える。

実施日・会場	参加者	実施内容
H24.9月～H25.1月、希望のあった保育所	こころの健康センター 日野和美（保育士）	< 専門保育士支援事例検討会 > 実施箇所数：9 保育所、延 17 回 相談園児数：39 人 保育士等支援者：77 人
	こころの健康センター 小泉晶一（小児科医）	< 専門家事例検討会 > 実施箇所数：1 保育所、延 1 回 相談園児数：1 人

オ 子どもの心の啓発普及研修会

医療、教育、保健、福祉等、子どもの心の問題に関する治療及び支援に携わる各分野の関係者が一堂に会し、相談対応技術のスキルアップ及び連携の強化を図る。

県内で開催した研修会

研修会等	実施日・会場	参加者	実施内容
関係者育成 セミナー	1 回目 平成 24 年 11 月 18 日(日) 会場：こころの 健康センター	医療・教育・ 保健・福祉等 関係者 延 87 人	講演 「子どものうつ状態とその対応について」 講師：ほんだクリニック 院長 本田 徹 事例検討会
	2 回目 平成 25 年 2 月 17 日(日) 会場：こころの 健康センター	対象：同上 延 73 人	講義 「自傷行為の理解と対応」 講師：こころの健康センター 次長 角田 雅彦（精神科医） 講義 「思春期危機と自傷行為の理解・ 対応について～ソーシャルワー クの視点から～」 講師：メンタル&ライフサポート長岡 心の健康相談室 室長 今井 栢男（精神保健福祉士） 事例検討会

央で開催された高度な研修・会議への参加

研修会・会議等	実施日・会場	参加者	実施内容
<p>子どもの心の診療拠点病院の整備に関する有識者会議</p> <p>子どもの心の診療ネットワーク事業連絡会議</p>	<p>平成 24 年 7 月 6 日（金）</p> <p>会場：東京都</p>	<p>こころの健康センター医師</p>	<p>子どもの心の診療ネットワーク事業の実施状況等、中央拠点病院の取組について</p> <p>今年度の事業内容説明</p>
<p>子どもの心の診療ネットワーク事業連絡会議</p> <p>「慢性疾患をもつ子どもの“うつ”へのケア」研修会</p> <p>子どものこころの健康を考えるシンポジウム</p>	<p>平成 25 年 1 月 25 日（金） ～27 日（日）</p> <p>会場：東京都</p>	<p>こころの健康センター医師</p>	<p>子どもの心の診療ネットワーク事業の内容説明</p> <p>子どものうつへのケア</p> <p>青年期の障がいの理解と援助</p>

カ 普及啓発

いしかわ子どもの心のケア推進事業の相談窓口カードを、各種研修会、事例検討会等で配付し周知を図っている。

(12) 精神障害者地域生活支援事業

精神科病院に長期にわたり入院している精神障害者のうち、受け入れ条件が整えば在宅生活が可能と見込まれる人及び入院期間が1年未満の人であっても地域生活への支援を行わなければ社会的な入院の長期化が見込まれる人に対し、地域での在宅生活に向けての支援を行うため、以下の事業を行った。

ア ピアサポーターの養成研修会

(ア) ピアサポーター養成研修会

目 的：仲間をサポートできる当事者の養成とその支援体制の充実強化を図る

日 時：平成24年8月22日(水) 10:30～16:00

場 所：県リハビリテーションセンター 大研修室

参加者：当事者、精神科医療機関、市町職員、保健所職員、相談支援事業所職員等 57人

内 容：講義

「精神障がい者の退院支援～ピアノ視点から“仲間のために、自分たちができること”～」

講師：(社福)のぞみ福祉会精神障害者地域生活支援センター シード
サービス管理責任者 中山恭子 他ピアサポーター2名

実践報告

やたの生活支援センター、ピアサポートのよからの報告

(イ) ピアサポーター交流会

日 時：平成24年8月22日(水) 16:15～17:00

参加者：当事者7人

(ウ) ピアサポーター活動手引き作成検討会

目 的：ピアサポーターの活動を支援する手引きを作成する

日 時：平成25年1月28日(月) 15:30～17:00

参加者：ピアサポーター、地域体制整備コーディネーター、保健所職員等 21人

イ 地域体制整備コーディネーター及びピアサポーターの配置

金沢市在住の対象者の地域生活体制の調整を行うコーディネーターを配置し、金沢市、精神科病院、相談支援事業所との連携、ピアサポーターの養成、助言、登録を行った。

ピアサポーターの登録人数：5人

(13) 調査研究

第40回北陸公衆衛生学会にて以下の調査研究を発表した。

日 時：平成24年11月13日（火）

会 場：金沢エクセルホテル東急

題 目：青年期社会的ひきこもり当事者グループ参加者の実態について

発表者：(石川県こころの健康センター) 梅本浩靖 角田雅彦 飯田芳枝
山下いづみ 吉本真悟

〔目的〕 石川県こころの健康センターでは、平成13年度から「ひきこもり」状態にある若者に対して、安心して居られる「居場所」を確保し、同じような悩みを分かち合える仲間との体験や交流を通して、孤独感を軽減し、対人関係の持ち方を学び、社会性と活動性の向上を図ることを目的とした集団活動（名称、悠友クラブ）を実施（現在月3回、1回おおよそ2時間）している。今回、活動参加者の参加開始時の特徴と帰結を検証し、今後のより効果的な支援を考える一助とする。

〔方法〕 集団活動を開始した平成13年から昨23年までの11年間に、活動に参加した実人員は63名である。このうち、活動参加の契機、個人療法の有無、集団活動参加以降の社会活動の変化等の調査する相談記録項目が揃っている52名を対象とし、相談記録票に基づき検証した。

〔結果・考察〕 性別は、男性41名、女性11名で、男性が約8割である。年齢は、16歳から34歳。活動参加以降の社会活動の変化については、進学が5名、就労が12名、他機関（障害支援機関、就労支援機関等）利用が8名、独自の社会活動を広げていったものが4名、当活動のみが2名、中断が21名（うち2名は、転居等外的事情による）である。尚、新たな社会活動の場に進出した後も引き続き当活動に参加しているものが10名以上いる。参加回数と社会活動の変化の関係をみると、最短で5回の活動参加で次の社会活動の場に進んだものがある。中断者21名中13名が1~2回の参加で中断しており、残り8名中でも7名が参加10回以内で中断となっている。集団活動参加のきっかけと社会活動の変化の関係をみると、情報を得て自ら積極的に参加を希望した11名のうち中断者8名（中断率73%）、他者（家族、医療機関、他支援機関）から勧められた23名のうち中断者10名（43%）、当センター等での個別相談を通して参加の意思を固めた18名のうち中断者3名（17%）であった。自ら希望して活動参加したものの中断率が高い。集団活動に対する自分の予想と実際のギャップの大きさ、集団活動以外の支援を希望しないこと等が影響していると思われる。集団活動参加時点での個別継続相談の有無と社会活動の変化の関係をみると、個別継続相談があった23名のうち中断は2名〔2名共個別継続相談のみは続く〕（中断率9%）、個別継続相談がなかった29名のうち中断者は19名であった。個別継続相談についての話し合いを十分行えなかったであろう1~2回の参加で中断した13名を除いても、16名中6名の中断（38%）になる。「ひきこもり支援は、個人的支援から集団活動のような中間的・過度的な同世代集団との再会、そこから本格的な社会活動へと一段ずつ登っていく過程を大切に、段階のショートカットは勧められない」（斎藤ら、2011）と言われるとおり、当集団活動を中断しないために、個別相談を重ねてからの集団活動参加や、集団活動を希望して来談したものにも個別相談を組み入れることが重要と考える。

3 支援課（発達障害支援センター）業務

(1) 発達障害児(者)及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援

発達障害児(者)に関する相談全般で、1回～数回の相談で終了する相談支援、心理機能の適正な発達を支援し、円滑な社会生活を促進するために発達障害の特性に対応して、継続的に支援する発達支援、就労に関して継続的に支援する就労支援を行っている。

表1 年齢別

年齢区分(歳)		0～3	4～6	7～12	13～15	16～18	19～	不明	合計
相談支援	実人員	21	29	54	34	40	197	22	397(12)人
	延件数	46	116	161	144	157	912	22	1,558(70)件
発達支援	実人員	96	121	56	10	7	44	0	334人
	延件数	1,546	1,698	654	94	72	893	0	4,957件

年齢区分(歳)		18歳未満	18歳以上	合計
就労支援	実人員	0	39	39人
	延件数	0	477	477件

()は内数で県外居住者及び居住先不明者の合計

表2 相談支援の主な相談内容

情報提供	家庭生活	健康・医療	教育	保育	療育	進路相談	自立支援	就労	その他	合計
36	403	511	162	7	5	25	2	239	168	1,558件

表3 相談方法

区分	来所	訪問	電話	その他	合計
相談支援	1,022	12	451	73	1,558件
発達支援	1,169	3,664	114	10	4,957件
就労支援	428	3	41	5	477件
合計	2,619	3,679	606	88	6,992件

その他：メール、FAX、文書等を含む

表4 障害種別

区 分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
自 閉 症	81	111	28	220
アスペルガー症候群	29	11	4	44
A D / H D	6	6	1	13
L D	4	0	0	4
そ の 他	42	64	3	109
不明（未診断含む）	235	142	3	380
合 計	397人	334人	39人	770人

自閉症：自閉症及び広汎性発達障害を含む

アスペルガー症候群：高機能自閉症、高機能広汎性発達障害を含む

表5 相談者

区 分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
本 人	685	2,728	383	3,796
保 護 者 ・ 親 族	708	2,170	57	2,935
保 育 所 ・ 幼 稚 園	0	0	0	0
小 学 校	5	8	0	13
中 学 校	3	1	0	4
高 等 学 校	2	0	0	2
特 別 支 援 学 校	11	0	0	11
専 門 学 校 ・ 短 大 ・ 大 学	4	8	0	12
援 護 施 設 等	1	12	2	15
保 健 所	1	0	0	1
市 町 保 健 セ ン タ ー	2	2	0	4
行 政	4	5	0	9
医 療 機 関	67	13	3	83
公 共 職 業 安 定 所	7	1	3	11
障 害 者 職 業 セ ン タ ー	12	1	13	26
障 害 者 就 業 ・ 生 活 支 援 セ ン タ ー	1	0	5	6
児 童 相 談 所	6	1	0	7
そ の 他	39	7	11	57
合 計	1,558件	4,957件	477件	6,992件

援護施設等：更生・授産施設、通勤寮、福祉ホーム等

行政：保健所、市町保健センターを除く

表6 支援回数別実人員

区 分	1～10回	11回以上	合計
発達支援（実人員）	176	158	334人
就労支援（実人員）	23	16	39人

表7 支援期間別実人員

区 分	3ヶ月未満	3ヶ月～ 6ヶ月未満	6ヶ月～ 1年未満	1年以上	合計
発達支援（実人員）	13	24	68	229	334人
就労支援（実人員）	0	0	0	39	39人

（2）精神科医による相談事業

囑託の精神科医による相談事業を月1回実施している。相談後の支援は、センターによる継続支援や、必要に応じて医療機関等への紹介を実施しているが、今年度はすべてセンターでの継続支援だった。

表1 相談事業結果

実 施 回 数		12回
来 所 実 人 員		23人
来 所 延 人 員		23人
年齢別	0 ～ 3 歳	0
	4 ～ 6 歳	0
	小 学 生	3
	中 学 生	2
	16 ～ 18 歳	1
	19 歳 ～	17
	合 計	23
診察結果	障 害 な し	0
	経過観察（判定保留）	1
	自 閉 症	20
	アスペルガー症候群	0
	A D / H D	0
	L D	0
	知 的 障 害	1
	そ の 他	1
合 計	23	
支援内容	センターで継続支援	23
	医療機関紹介	0
	療育施設紹介	0
	その他の機関紹介	0
	他機関で管理中	0

自閉症：自閉症及び広汎性発達障害を含む

アスペルガー症候群：高機能自閉症、高機能広汎性発達障害を含む

(参考)

年度別各支援件数の推移

区分	相談支援	発達支援	就労支援	計
H19	1,725 (299)	1,964 (79)	409 (15)	4,098 (393)
H20	1,478 (343)	2,198 (93)	476 (22)	4,152 (458)
H21	1,664 (358)	2,036 (92)	635 (31)	4,335 (481)
H22	1,477 (357)	5,135 (329)	378 (26)	6,990 (712)
H23	1,558 (397)	4,957 (334)	477 (39)	6,992 (770)

注：()は内数で実人員

(3) 青年期グループ活動

平成 17 年 10 月より、毎週木曜午後 2 時から 4 時まで、青年期を対象としたグループ活動を実施している。

表 1 活動状況

実施回数	実人員	延人員	内 容
44 回	36 人	626 人	SST(対人マナー、社会見学、ストレス解消法、調理実習等)

(4) 就労者グループ活動

平成 22 年 7 月より、第 3 金曜午後 7 時から 9 時まで、就労者を対象としたグループ活動を実施している。

表 1 活動状況

実施回数	実人員	延人員	内 容
12 回	5 人	34 人	談話会等

(5) 親のつどい

平成19年10月より、第2火曜午後1時半から3時半まで、青年期の保護者を対象として実施している。

平成21年12月より、第3水曜午前10時から12時まで、学齢期の保護者を対象として実施している。

表1 実施状況

区分	実施回数	実人員 (家族)	延人員	内容
青年期	10回	5組	14人	ピアカウンセリング、話し合い、学習会など
学齢期	1回	1組	1人	ピアカウンセリング、話し合いなど

(6) 関係機関等との調整会議

発達障害児(者)支援のネットワークの構築を目的とした会議を開催している。

表1 開催状況

内容	発達障害 全般	療育	医療	教育	保健	福祉
回数	2	3	0	1	1	0

内容	就労	自立支援	その他	合計
回数	9	13	2	31回

(7) 機関コンサルテーション

関係機関に対する障害児(者)への関わり方等についての助言を実施している。

表1 対象機関及び支援内容

区 分		実支援施設数	延支援件数
対象機関	小 学 校	1	2
	中 学 校	2	2
	高 等 学 校	0	0
	特 別 支 援 学 校	0	0
	専 門 学 校 ・ 大 学	0	0
	放 課 後 児 童 ク ラ ブ	0	0
	市 教 育 研 究 所	0	0
	地 域 療 育 等 支 援 事 業 所	1	2
	市 町	3	3
	企 業	0	0
	保 健 福 祉 セ ン タ ー	3	20
	合 計	10 ヵ所	29 件
	支援内容	障 害 特 性 の 理 解	
指 導 ・ 対 応 方 法 の 助 言			0
心 理 査 定			5
事 例 検 討			0
研 修 会			3
そ の 他			2
合 計			19
			29 件

(8) 個別支援のための調整会議

関係機関による会議を開催し、障害児(者)に関して、共通認識を図り、よりよい支援を検討している。

表1 年齢別

区 分	0～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19歳以上	合計
実人員	3	11	6	2	43	65人
延件数	3	15	6	2	68	94件

表2 障害種別

区 分	実支援人員
自 閉 症	46
アスペルガー症候群	4
A D / H D	1
L D	1
そ の 他	1
不明(未診断含む)	12
合 計	65人

自閉症：自閉症及び広汎性発達障害を含む

アスペルガー症候群：高機能自閉症、高機能広汎性発達障害を含む

表3 会議テーマ

内 容	開催回数
家 庭 生 活	5
健康・医療	1
教 育	19
保 育	0
療育支援	0
進路相談	1
自立支援	9
就労支援	55
そ の 他	4
合 計	94回

(9) 普及啓発及び研修

発達障害児（者）の理解及び支援を積極的に進めるため、一般を対象とした普及啓発及び関係機関の職員を対象とした研修会を実施している。

また、関係機関からの講演依頼について、講師を派遣している。

表 1 公開講演会及び研修会開催状況

日 時	会 場	内 容	講 師	対象及び人数
平成24年 6月5日	石川県庁	発達障害を理解するための 研修会(金沢会場:基礎編) 「気になる子どもたち ～どう受け止め、どう理解し、 どう関わるか～」	金沢手をつなぐ親の会 障がい児対象児童クラブ 「すずかけクラブ」 笠合 竜明	放課後児童 クラブ指導員 等 135人
平成24年 6月13日	能登空港 生涯学習 センター	発達障害を理解するための 研修会(能登会場:基礎編) 「気になる子どもたち ～どう受け止め、どう理解し、 どう関わるか～」	金沢手をつなぐ親の会 障がい児対象児童クラブ 「すずかけクラブ」 笠合 竜明	放課後児童 クラブ指導員 等 34人
平成24年 8月24日	石川県庁	発達障害等相談支援従事者 育成研修(基礎研修)	県障害保健福祉課 乙部 創 発達障害支援センター 酒井 伸吾 ときわ病院 安本 真由美	市町、相談 支援事業所 等職員 21人
平成24年 9月4日	こころの 健康センター	発達障害等相談支援従事者 育成研修(基礎研修)	日本ポーターズ協会 石川湖南支部 小坂 正栄 金沢障害者就業・生活 支援センター 松本 千春	市町、相談 支援事業所 等職員 16人
平成24年 10月12日 10月13日	こころの 健康センター	発達障害等相談支援従事者 育成研修(基礎研修)	東京都立小児総合 医療センター 近藤 直司	市町、相談 支援事業所 等職員 70人
平成24年 10月16日	こころの 健康センター	発達障害等相談支援従事者 育成研修(実務研修)	発達障害支援センター職員	市町、相談 支援事業所 等職員 3人
平成24年 10月29日	こころの 健康センター	発達障害等相談支援従事者 育成研修(実務研修)	発達障害支援センター職員	市町、相談 支援事業所 等職員 2人
平成24年 10月31日	石川県庁	発達障害を理解するための 研修会(金沢会場:実践編) 「気になる子どもたち ～どう受け止め、どう理解し、 どう関わるか～」	金沢手をつなぐ親の会 障がい児対象児童クラブ 「すずかけクラブ」 笠合 竜明	放課後児童 クラブ指導員 等 56人

平成24年 11月5日	こころの 健康センター	発達障害等相談支援従事者 育成研修（実務研修）	発達障害支援センター職員	市町、相談 支援事業所 等職員 1人
平成24年 11月7日	能登空港 生涯学習 センター	発達障害を理解するための 研修会(能登会場:実践編) 「気になる子どもたち ～どう受け止め、どう理解し、 どう関わるか～」	金沢手をつなぐ親の会 障がい児対象児童クラブ 「すずかけクラブ」 笠合 竜明	放課後児童 クラブ指導員 等 26人
平成24年 11月19日	こころの 健康センター	発達障害等相談支援従事者 育成研修（実務研修）	発達障害支援センター職員	市町、相談 支援事業所 等職員 2人
平成24年 11月21日	こころの 健康センター	発達障害等相談支援従事者 育成研修（実務研修）	発達障害支援センター職員	市町、相談 支援事業所 等職員 4人
平成24年 12月10日	こころの 健康センター	発達障害等相談支援従事者 育成研修（実務研修）	発達障害支援センター職員	市町、相談 支援事業所 等職員 2人
平成24年 12月18日	こころの 健康センター	発達障害等相談支援従事者 育成研修（実務研修）	発達障害支援センター職員	市町、相談 支援事業所 等職員 3人
平成25年 1月7日	こころの 健康センター	発達障害等相談支援従事者 育成研修（実務研修）	発達障害支援センター職員	市町、相談 支援事業所 等職員 1人
平成25年 1月15日	こころの 健康センター	発達障害等相談支援従事者 育成研修（実務研修）	発達障害支援センター職員	市町、相談 支援事業所 等職員 1人
平成25年 1月21日	こころの 健康センター	発達障害等相談支援従事者 育成研修（実務研修）	発達障害支援センター職員	市町、相談 支援事業所 等職員 2人
平成25年 1月28日	こころの 健康センター	発達障害等相談支援従事者 育成研修（実務研修）	発達障害支援センター職員	市町、相談 支援事業所 等職員 1人
平成25年 2月23日	金沢市教育 プラザ富樫	公開講演会 「発達障害の理解と支援 ～静かな目線で共に歩む～」	金沢大学子どもこころ の発達研究センター 棟居 俊夫	一般 146人
平成25年 3月10日	石川県女性 センター	アセスメントツール基礎研修 「アセスメントツールを用いた 発達歴の問診～乳幼児期を 中心に」	国立精神・神経医療研究 センター精神保健研究所 稲田 尚子	保健師、保育 士、幼稚園 教諭等 143人

表2 講師を派遣した講演会及び研修会開催状況

日 時	会 場	内 容	対象及び人数
平成24年 4月6日	石川県庁	石川県行動援護従事者養成研修 企画会議	居宅介護従事者等 14人
平成24年 4月12日	金沢産業 技術専門学校	ワークサポート科講義	学生・教員 7人
平成24年 6月12日	こころの 健康センター	金沢大学学生講義	大学生 83人
平成24年 7月26日	こころの 健康センター	養護教員健康相談事例研究会	養護教諭 15人
平成24年 8月1日	美川中学校	美川中学校教職員研修会	美川中学校教職員 24人
平成24年 8月23日	泉丘高校	泉丘高校校内研修会 「発達障害の理解と支援について」	泉丘高校教職員 18人
平成24年 9月12日	石川県 警察学校	石川県警察学校講義 「知的障害・発達障害の理解」	学生・取調官 23人
平成24年 10月11日	金沢産業 技術専門学校	ワークサポート科講義	学生・教員 8人
平成24年 11月17日	こころの 健康センター	ペアレントメンター養成講座 (フォローアップコース)	一般 19人
平成24年 12月16日	映寿会病院	ソーシャルワーク研修 「発達障害の知識と対応について」	石川医療ソーシャル ワーカー協会会員 41人
平成24年 12月25日	こころの 健康センター	養護教員健康相談事例研究会	養護教諭 11人
平成25年 1月17日	駅西合同庁舎	学卒ジョブサポーター研修 「発達障害等の特性について」	学卒ジョブサポーター 30人
平成25年 1月31日	いしかわ 若者サポート ステーション	親セミナー 「社会参加と就労への道のり」	保護者等 30人
平成25年 3月9日	異業種 研修会館	ペアレントメンター養成講座 (応用研修)	一般 16人
平成25年 3月15日	石川県庁	石川県相談支援従事者研修 「地域生活支援事業について(発達障害)」	福祉事業所相談支援員 43人

資 料

平成24年度石川県保健福祉センター・金沢市福祉健康センター ・こころの健康センター精神保健相談状況

1 精神保健福祉相談状況(電話・来所・訪問)

(1) 内容別相談 * 泉野福祉健康センター訪問分のみ1件重複回答

区分		老人精神 保健	社会復帰	アルコー ル	薬物	思春期	心の健康 づくり	その他	合計(延)
南加賀保健 福祉センター (含む加賀地 域地域セン ター)	電話	76	408	92	29	28	1026	554	2213
	来所(実125)	19	133	26	3	18	178	43	410
	訪問(実94)	12	68	4	4	5	121	124	341
石川中央保 健福祉セン ター(含む河 北地域セン ター)	電話	54	487	33	0	23	105	707	1409
	来所(実140)	16	62	9	0	22	52	94	255
	訪問(実51)	4	64	2	0	2	0	81	153
能登中部保 健福祉セン ター(含む羽 咋地域セン ター)	電話	72	466	13	0	80	92	65	788
	来所(実93)	8	96	5	0	26	20	21	176
	訪問(実28)	4	60	3	0	1	3	3	74
能登北部保 健福祉セン ター(含む珠 洲地域セン ター)	電話	19	888	23	1	33	18	41	1023
	来所(実87)	12	145	17	0	38	6	5	223
	訪問(実45)	2	84	1	0	5	6	7	105
泉野福祉健 康センター	電話	23	765	27	0	3	197	1	1016
	来所(実97)	11	127	7	0	2	45	0	192
	訪問(実50)	22	138	2	0	1	13	0	* 176
元町福祉健 康センター	電話	9	598	13	0	0	157	44	821
	来所(実65)	1	56	1	0	0	38	3	99
	訪問(実44)	1	94	2	0	0	17	21	135
駅西福祉健 康センター	電話	30	590	57	0	2	205	0	884
	来所(実102)	7	74	17	0	1	38	1	138
	訪問(実34)	12	80	0	0	0	22	0	114
保健所計	電話	283	4202	258	30	169	1800	1412	8154
	来所(実761)	74	693	82	3	107	377	167	1493
	訪問(実346)	57	588	14	4	14	182	236	1095
こころの健康 センター	電話	59	114	31	14	274	2141	2993	5626
	来所(実324)	4	279	18	3	269	335	383	1291

精神保健福祉相談状況(電話・来所区分別)

(2) 年齢区分別相談

区分		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	合計
南加賀保健福祉センター (含む加賀地域センター)	電話 延	0	26	577	733	288	289	161	93	46	2213
	来所 実	0	6	28	42	28	8	12	18	3	145
	延	0	16	73	167	73	32	21	25	3	410
石川中央保健福祉センター (含む河北地域センター)	電話 延	3	47	178	419	376	173	113	48	52	1409
	来所 実	1	22	25	30	26	12	14	10	0	140
	延	1	33	54	64	43	27	18	15	0	255
能登中部保健福祉センター (含む羽咋地域センター)	電話 延	1	98	58	177	176	95	100	56	27	788
	来所 実	0	15	8	20	21	8	9	6	6	93
	延	0	26	17	40	40	18	19	8	8	176
能登北部保健福祉センター	電話 延	0	37	51	91	310	75	407	34	18	1023
	来所 実	0	22	14	14	22	20	17	8	2	119
	延	0	37	27	33	35	35	40	13	3	223
泉野福祉健康センター	電話 延	0	6	93	217	280	149	164	107	0	1016
	来所 実	0	3	16	25	24	12	7	10	0	97
	延	0	4	56	38	38	19	16	21	0	192
元町福祉健康センター	電話 延	0	15	122	78	369	105	118	14	0	821
	来所 実	0	2	13	11	11	9	11	8	0	65
	延	0	2	23	22	21	10	12	9	0	99
駅西福祉健康センター	電話 延	2	4	101	104	210	192	205	53	13	884
	来所 実	1	3	7	20	22	21	17	11	0	102
	延	1	3	13	26	28	26	26	15	0	138
保健所計	電話 延	6	233	1180	1819	2009	1078	1268	405	156	8154
	来所 実	2	73	104	169	154	90	87	71	11	761
	延	2	121	263	390	278	167	152	106	14	1493
こころの健康センター	* 電話延	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5626
	来所 実	6	74	84	11	115	19	7	5	3	324
	延	31	280	399	352	153	S	11	5	3	1234

* こころの健康センターの電話相談の年齢区分は集計区分が異なるため記載できず

精神保健福祉相談状況(来所別)

(3) 診断別相談

保健所	区分	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	G40	その他	保留	不明	合計
		南加賀保健福祉センター(含む加賀地域センター)	実	5	8	28	29	10	5	2	3	7	0	1	0	23
	延べ	6	21	116	83	38	20	7	5	26	0	1	0	45	42	410
石川中央保健福祉センター(含む河北地域センター)	実	5	2	21	16	9	1	2	2	6	2	0	5	6	63	140
	延べ	7	3	40	39	17	1	2	2	21	2	0	5	27	89	255
能登中部保健福祉センター(含む羽咋地域センター)	実	0	3	37	15	4	1	0	1	2	0	0	13	0	17	93
	延べ	0	4	82	19	12	4	0	2	4	0	0	23	0	26	176
能登北部保健福祉センター	実	4	11	42	13	15	1	1	0	2	9	0	2	0	19	119
	延べ	4	20	89	18	30	1	2	8	3	16	0	7	0	25	223
泉野福祉健康センター	実	4	3	24	19	5	1	2	1	2	1	0	8	0	27	97
	延べ	16	4	39	33	29	1	6	2	14	2	0	17	0	29	192
元町福祉健康センター	実	2	0	17	11	3	1	0	1	1	0	0	1	0	28	65
	延べ	2	0	34	15	8	1	0	1	1	0	0	1	0	36	99
駅西福祉健康センター	実	4	11	18	25	7	1	5	1	0	1	0	0	0	29	102
	延べ	7	14	27	35	8	3	8	2	0	1	0	0	0	33	138
保健所計	実	24	38	187	128	53	11	12	9	20	13	1	29	29	207	761
	延べ	42	66	427	242	142	31	25	22	69	21	1	53	72	280	1493
こころの健康センター	実	1	2	41	42	16	0	1	3	10	4	1	15	188	0	324
	延べ	1	2	217	190	106	0	2	3	55	21	3	25	666	0	1291

*こころの健康センターの「その他」はF10、異常なし、非定型精神病、ナルコレプシーを含む

精神保健福祉相談状況(来所別)
(4) 自殺・ひきこもり区分(再掲)

保健所	区分	自殺	社会的ひきこもり			
			19歳以下	20～29歳	30歳以上	合計
南加賀保健福祉センター (含む加賀植域センター)	実	6	0	2	3	5
	延	10	0	5	9	14
石川中央保健福祉センター (含む河北地域センター)	実	0	1	3	2	6
	延	0	1	6	3	10
能登中部保健福祉センター (含む羽咋地域センター)	実	8	7	4	4	15
	延	17	10	9	10	29
能登北部保健福祉センター (含む珠洲地域センター)	実	8	4	1	2	7
	延	16	6	1	1	8
泉野福祉健康センター	実	8	1	13	5	19
	延	11	2	49	17	68
元町福祉健康センター	実	1	0	2	2	4
	延	3	0	2	5	7
駅西福祉健康センター	実	3	1	0	2	3
	延	13	1	0	3	4
保健所計	実	34	14	25	20	59
	延	70	20	72	48	140
こころの健康センター	実	11	7	31	26	64
	延	16	21	159	96	276

2 精神保健福祉相談状況(訪問指導)

(1) 内容別相談ただし泉野福祉健康センターのみが複数で計上(1件分)

保健所	内容別件数		老人 精神 保健	社会 復帰	アル コール	薬物	思春 期	心の 健康づ くり	その他
	実	延べ							
南加賀保健福祉センター (含む加賀地域センター)	94	338	12	68	4	4	5	121	124
石川中央保健福祉センター (含む河北地域センター)	51	153	4	64	2	0	2	0	81
能登中部保健福祉センター (含む羽咋地域センター)	28	74	4	60	3	0	1	3	3
能登北部保健福祉センター (含む珠洲地域センター)	45	105	2	84	1	0	5	6	7
泉野福祉健康センター	50	176	22	138	2	0	1	13	0
元町福祉健康センター	44	135	1	94	2	0	0	17	21
駅西福祉健康センター	34	114	12	80	0	0	0	22	0
保健所計	346	1095	57	588	14	4	14	182	236

* 泉野福祉健康センターのみ1件複数選択となっている

精神保健福祉相談状況(訪問指導)

(2)年齢区分別訪問指導件数

保健所		区分									
		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	合計
南加賀保健福祉センター (含む加賀地域センター)	実	0	2	26	29	14	10	8	5	0	94
	延	0	8	88	90	66	40	26	20	0	338
石川中央保健福祉センター (含む河北地域センター)	実	0	2	9	13	14	7	3	3	0	51
	延	0	4	30	44	26	37	8	4	0	153
能登中部保健福祉センター (含む羽咋地域センター)	実	0	2	2	6	4	10	3	1	0	28
	延	0	4	2	7	10	29	21	1	0	74
能登北部保健福祉センター (含む珠洲地域センター)	実	0	1	9	7	9	9	7	3	0	45
	延	0	1	27	8	23	24	18	4	0	105
泉野福祉健康センター	実	0	1	7	13	10	5	5	9	0	50
	延	0	1	14	50	28	16	20	46	0	175
元町福祉健康センター	実	0	1	8	13	9	6	6	1	0	44
	延	0	2	27	43	23	17	22	1	0	135
駅西福祉健康センター	実	0	0	4	2	7	12	5	4	0	35
	延	0	0	11	2	14	51	20	16	0	114
保健所計	実	0	9	65	83	67	59	37	26	0	346
	延	0	20	199	244	190	214	135	92	0	1094

精神保健福祉相談状況(訪問指導)

(3)診断区分別(診断名はICD10に準ずる)訪問指導件数

保健所	実	延	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	G40	その他	保留	不明	合計
南加賀保健福祉センター (含む加賀地域センター)	94	338	0	5	128	88	30	14	3	0	13	0	0	5	34	18	338
石川中央保健福祉センター (含む河北地域センター)	51	153	5	1	62	40	11	0	6	3	19	0	0	0	0	6	153
能登中部保健福祉センター (含む羽咋地域センター)	28	74	3	4	47	13	1	0	0	0	0	0	0	4	0	2	74
能登北部保健福祉センター (含む地域センター)	45	105	1	1	72	18	2	1	0	0	0	0	0	0	0	10	105
泉野福祉健康センター	50	175	25	3	92	32	8	0	0	0	1	0	0	1	0	13	175
元町福祉健康センター	44	135	13	0	61	24	13	1	0	0	0	0	0	2	0	21	135
駅西福祉健康センター	34	114	12	0	65	18	6	0	0	0	0	0	0	0	0	13	114
合計	346	1094	59	14	527	233	71	16	9	3	33	0	0	10	34	83	1094

3 普及啓発活動

NO1

保健所	区分 内容	講演会				その他			
		回数	人数	主なテーマ	対象	回数	人数		対象
南加賀保健福祉センター		1	45	自殺防止対策地域連絡会	国関係機関、医療機関、民生委員、教育関係、ボランティア、各種団体、社協、警察、消防、市町	2	82	ゲートキーパー研修	石川県理容生活衛生同業組合員
		1	45	平成24年度自殺防止対策研修会	国関係機関、医療機関、民生委員、教育関係、ボランティア、各種団体、社協、警察、消防、市町	3	450	自殺予防街頭キャンペーン(小松・加賀・能美)	一般住民
		1	92	平成24年度青年期心の健康づくり研修会	国関係機関、教育関係、ボランティア、福祉サービス事業所、市町・医療機関				
加賀地域センター		-	-						
石川中央保健福祉センター(含む河北地域センター)		-	-			6	141	ゲートキーパー出前講座	一般住民、民生委員
						1	150	自殺予防啓発普及キャンペーン	一般住民
						1		FMののいち出演(こころの健康について)	一般住民
						5		管内広報「こころの健康相談」	一般住民
						5		管内広報「ひきこもり相談」	一般住民
能登中部保健福祉センター(含む羽咋地域センター)		8	403	みんながゲートキーパー出前講座	市町・介護・理容			自殺予防週間及び自殺対策強化月間における自殺予防の普及啓発(街頭キャンペーン、ラジオ・ホームページ広報、ポスター掲示、チラシ配布)	一般住民
能登北部保健福祉センター(含む珠洲地域センター)		1	24	思春期青年期こころの健康づくり事業講演会	学校関係者、保険医療関係者	1	100	自殺予防対策のクリアファイル、パンフレット、グッズの配布	能登北部食生活改善推進員総会参加者
		1	36	講話(自殺の現状とゲートキーパーの役割など)	県政出前講座受講者(能登町民生委員能都支部)	1	1600	声掛け、自殺予防対策(普及啓発)グッズの配布	一般住民
		1	22	レクチャー「ゲートキーパーとは」、講話「自殺に至りやすい病気の理解と医療機関での相談(うつで悩む事例の環境要因等のチェックリストの活用等)」公立能登総合病院医師及び精神保健福祉士	市町、医療機関、障害者支援事業、職業安定所、金融機関(郵便局、農協等含む)等	2	94	講話、自殺予防対策対策のクリアファイル、パンフレット、グッズの配布	県美容組合(管内会員)
						1	50	講話、自殺予防対策対策のクリアファイル、パンフレット、グッズの配布	食品衛生責任者講習会受講者
						2	90	講話、自殺予防対策対策のクリアファイル、パンフレット、グッズの配布	特定給食施設

3 普及啓発活動

NO2

区分 保健所 内容	講演会				その他			
	回数	人数	主なテーマ	対象	回数	人数	内容	対象
泉野福祉健康センタ	1	41	地区別うつ予防講演会(四十万地区) 講演「うつ病の正しい理解と対応」 講師 金沢こころクリニック 院長 浜原 昭仁 氏	四十万地区住民	4	168	こころの健康づくり 「こころの不調に苦しんでいませんか」 「震災の支援活動・こころのケアについて」 「乳幼児のこころの発達・こころの健康づくり」 自殺予防統一キャンペーン	一般市民 公民館関係者 子育て中の親
	1	108	市民公開講座 講演「不安障害」 講師 金沢医療センター 精神神経科 精神科医 杉盛かある 氏	一般市民	1	300		一般市民
	1	100	ゲートキーパー研修会(依頼) 講師 石川県こころの健康センター 次長 角田 雅彦 氏	理容組合員	4	-	ラジオ広報 FMラジオ 金沢いいね金沢 みみより情報	一般市民
	1	57	自殺予防研修会 講演「自殺の背景にある疾病の理解と対応」 講師 石川県こころの健康センター 次長 角田 雅彦 氏	庁内職員 救急職員			「こころの健康づくり～うつ予防～」 「ひきこもりについて」 「自殺予防週間」 「アルコール依存症」	
	1	27	講演「あなたのこころも大切に」 ～無理せずあなたもゲートキーパー～ 講師 金沢医科大学看護学部 教授 北岡 和代 氏	ボランティア 関係機関職員 家族会				
元町福祉健康センタ	1	26	うつ予防研修会 「うつ病の基本知識と関わり方～早くに気づいて、治療につなげるために～」 講師:精神科医師	田上地区住民 医療福祉関係者	-	-		
	3	122	講義「心の健康づくりについて」 講師:保健師 講義「こころの健康づくり～うつ予防の予防について～」講師:保健師 講話「こころの健康づくり」講師:保健師	市民				
	1	45	講話「統合失調症を知ろう」 講師:精神科医師	市民				
駅西福祉健康センタ	1	46	うつ予防研修会 講演「あなたのこころ元気でつか～うつ病を正しく理解しましょう～」講師:精神科医師 浜原昭仁 氏	米丸地区一般住民 地区民生委員	-	-		
	3	155	市民公開講座 講演「うつ病の基本」 「うつ病の治療」 「双極性障害」 講師:アイリスメディカルクリニック 精神科医師 越野好文 氏	一般住民				
	1	63	6/28西部管理センターこころの健康づくり 講師:西川保健師	一般住民				
	1	9	7/15家族会「精神障害者のハンディキャップ」 講師:川尻保健師	一般住民				
	1	25	8/22金沢ボランティア大学校講習 講師:川尻保健師	一般住民				
	1	20	1/16金沢気象台こころの健康づくり	一般住民				
	1	16	3/18包括支援センターゲートキーパー養成講座	一般住民				

4 関係機関・団体との連携

(1) 関係機関途の連携

NO 1

保健所	区分	回数	出席人数	関係機関	
	内容				対象・内容等
南加賀保健福祉センター		5	27	精神保健福祉担当者サロン会	
		4	36	精神保健福祉事例検討会	
		2	30	精神保健福祉事例検討会	
		11	120	母子支援事例検討会	
		11	105	母子支援事例検討会	
		12	72	母子支援事例検討会	
		12	138	母子支援事例検討会	
		2	24	小松市虐待等防止協議会(DV対策部会)	
		2	42	小松市虐待防止協議会(いのちと心の部会)	
		1	10	能美市虐待防止協議会DV対策部会	
		1	19	能美市自殺防止連絡協議会	
	加賀地域センター		2	2	事例検討会(病院)
			2	3	事例検討会(地域活動支援センター)
			2	2	事例検討会(警察署)
			1	1	事例検討会(社会福祉協議会)
		1	1	事例検討会(福祉ホーム)	
		2	3	事例検討会(福祉事務所)	
		1	2	事例検討会(加賀市)	
石川中央保健福祉センター		9	110	白山市障害者等自立支援協議会 精神障害部会	
		2	127	白山市障害者等自立支援協議会 全体会	
		2	82	白山市障害者等自立支援協議会 定例支援会議	
		2	48	白山市障害者等自立支援協議会 就労支援検討会議	
		1	38	白山市障害者等自立支援協議会 拡大療育検討会議	
		2	52	地域自立支援協議会全大会	
		3	56	障害者福祉計画策定委員会	
		2	27	自立支援協議会	
		2	166	石川県自立支援協議会ネットワーク会議	
		1	12	ひきこもり関連相談担当者学習会	
		1	37	自殺対策地域連絡会議	
		1	17	精神障害者地域生活支援事業地域連絡会議	
		1	14	管内精神保健福祉担当者連絡会議	
能登中部保健福祉センター(含む羽咋地域センター)		1	14	精神保健福祉連絡会	
		1	32	精神障害者地域生活支援(退院促進)連絡会議	
		1	24	労働者のメンタルヘルス対策研修会	
		1	55	医療観察制度研修会	
		3	7	ピアサポーター派遣	
	能登北部保健福祉センター(含む珠洲地域センター)		1	27	講話「能登北部地域の精神保健対策について」
		9	40	総会や連絡会への参加、個別ケースの助言	
		18	272	自立支援協議会定例会、市町連絡会、就労部会等	
		1	24	思春期青年期こころの健康づくりネットワーク会議	
		1	10	自殺対策推進連絡会議	
		18	151	事例検討(市町、病院)	
		3	30	能登町精神保健連絡会	
泉野福祉健康センター		1	27	金沢市自殺防止対策ネットワーク会議	
		1	50	合同学習会講演「こころの居場所づくりの原点」 講師 松浦幸子 氏 水野スウ 氏	
		1	19	金沢市市内相談担当者連絡会議	
元町福祉健康センター		3	24	ケース会議 「処遇困難ケースの地域における支援体制について」 「近隣苦情への対応」 「退院に向けて」等	
駅西福祉健康センター		13	78	ケース会議	

(2) 関係団体との連携

NO 1

HC	対象	回数	参加人数	内容
南加賀	断酒会	3	3	活動支援(断酒会報持参、自殺対策連絡会打ち合わせ、アルコール依存症家族教室打ち合わせ)
	警察	21	78	通報時連携及びケース連絡等
	病院	13	114	精神保健福祉事例検討会
	保護観察所	13	110	医療観察法関係ケア会議
	メンタルヘルスボランティア	5	138	小松・能美メンタルヘルスボランティア友の会役員会、学習会等
	相談支援事業所	6	48	精神保健福祉事例検討会
	加賀	なし		
石川中央 地域センター (含む河北)	精神障害者家族会	9	78	月例役員会・ちよに会総会
	精神障害者家族会	1	52	石家連総会
	精神障害者家族会	1	81	石家連「行政・病院長との懇談会」
能登中部 地域センター (含む羽咋)	精神障害者家族会	9	76	みそぎ会(総会、定例会等)
	精神障害者家族会	6	43	心明会(総会、定例会等)
	精神障害者家族会	11	290	家族等支援事業
	メンタルヘルスボランティア	5	6	総会・定例会5回
能登北部 地域センター (含む珠洲)	精神障害者家族会	8	44	輪水会
	精神障害者家族会	6	10	みのり会
	断酒会	12	53	断酒会及び酒害相談
	警察	2	52	被害者支援地域ネットワーク・相談ネットワーク連絡会(輪島2.8、珠洲2.4)
	その他	1	9	メンタルヘルスボランティアふたば友の会総会1回9人
	その他	5	24	メンタルヘルスボランティアコスモス会総会、活動の助言
泉野	精神障害者家族会	9	50	総会や例会などに参加。その都度、会員からの相談を受ける。
	ボランティアグループ	26	228	ボランティアグループの活動実績「メンボラ金沢ひだまりの会」「メンボラ金沢朱鷺の会」「メンボラ金沢絆の会」
元町	鳴和の里家族会	2	28	総会・家族会への出席、家族からの相談
	障害福祉サービス事業所「鳴和の里」	1	12	センター事業の案内、行事、メンバーの状況把握
駅西	精神障害者家族会	3	36	けやきの森等家族会総会・定例会
	作業所支援(クリエーションけやき)	4	9	理事会出席、利用者・相談員の相談及び助言

5 家族教室及びメンタルヘルス講座

(1) 家族教室

保健所	区分	家族教室			
	内容	回数	実人数	延人数	内容
南加賀保健福祉センター		1	27	27	うつ病家族教室
		1	23	23	アルコール依存症家族教室
加賀地域センター		0	0	0	実施なし
石川中央保健福祉センター (含む河北地域センター)		12	10	34	ひきこもり社会参加復帰支援事業「ひきこもり家族教室」 学習会、座談会、個別相談など
能登中部保健福祉センター (含む羽咋地域センター)		4	13	20	ひきこもり家族教室
		1	22	22	うつ病家族教室
能登北部保健福祉センター (含む珠洲地域センター)		3	5	6	不登校ひきこもり家族教室
泉野福祉健康センター		51	14	217	「ひきこもりの本人・家族のためのサロン」 本人:実12人 家族:実7人 ・居場所の提供・参加者同士の交流・情報交換、個別 相談
元町福祉健康センター		0	0	0	実施なし
駅西福祉健康センター		0	0	0	実施なし

(2)メンタルヘルス講座

保健所	区分 内容	メンタルヘルス講座			
		回数	実人数	延人数	内容
南加賀保健福祉センター		0	0	0	実施なし
加賀地域センター		0	0	0	実施なし
石川中央保健福祉センター(含む河北地域センター)		1	28	28	白山市聴覚障害グループ定例会に参加し「みんなのメンタルヘルス」と題し講演
能登中部保健福祉センター(含む羽咋地域センター)		0	0	0	実施なし
能登北部保健福祉センター(含む珠洲地域センター)		0	0	0	実施なし
泉野福祉健康センター		3	6	6	H24年度～精神保健ボランティア基礎講座は金沢ボランティア大学校の福祉健康コースの中に統合 H24年度～実践講座としては、ボランティア大学校受
元町福祉健康センター		0	0	0	実施なし
駅西福祉健康センター		0	0	0	実施なし

6 集団指導活動

保健所	精神障害者社会復帰相談指導事業			
	区分 内容	回数	実人数	延人数 内容
南加賀保健福祉センター		24	9	120 オアシス会(話し合い、調理実習、スポーツ、レクリエーション等)
加賀地域センター		0	0	0
石川中央保健福祉センター(含む河北地域センター)		12	10	34 ひきこもり社会参加復帰支援事業「ひきこもり家族教室」学習会、座談会、個別相談など
能登中部保健福祉センター(含む羽咋地域センター)		0	0	0
能登北部保健福祉センター(含む珠洲地域センター)		31	20	357 ふたば会(輪島市、穴水町対象)
		1	11	11 みのりクラブ(能登町能都、柳田地区対象)
		47	15	413 内浦クラブ(能登町内浦地区対象) 話し合い、料理、スポーツ、学習会、絵画、カラオケ、生花、書道、SST等
泉野福祉健康センター		51	14	217 「ひきこもりの本人・家族のためのサロン」 本人:実12人 家族:実7人 ・居場所の提供 ・居場所の提供参加者同士の交流 ・情報交換、個別相談
元町福祉健康センター		0	0	0
駅西福祉健康センター		0	0	0

7 こころの健康センター貸出しビデオ・DVD等一覧

(ビデオテープ(VHS方式)・DVD含む)

(平成25年10月現在)

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内容
児 童	2101	SOSからの笑顔へ ～いじめ登校拒否から自立を待つ～	60分	小・中 高・一	ビデオ	登校拒否の生徒を立ち直らせた事例の紹介
	2102 ～ 2106	子育てたまご(1)～(5)	各60	一般	ビデオ	0歳～小学生の子供について、親子・育児・あそび・食事などテーマ別に描いた家庭教育ビデオ
	2107	よい子のため息S・O・S	30	母親	ビデオ	子どものため息をついてる。(悩んでいる)
	2108	いじめ	30	中高生	ビデオ	先生は動いてくれなかった。先生は信じてくれない。仲間はずれが一番つらい。
	2109	あなたの心、元気ですか!	20	一般	ビデオ	高校生及び、心の病を理解し、どのように対処するかの工夫を考え、学ぶことを目的としたビデオ。
	2110	夢はお母さんと二人っきり	32	母親	ビデオ	幼児は、妹や弟が出来ると母親を独占したいと思うようになる。
	2111	子育てに自信をなくしているあなたへ	15	育児者	ビデオ	育児の悩みの解消策について。
	2112	子ども虐待防止対策ビデオ 「MCGとは何か」	15	母親	ビデオ	MCGとは東京都世田谷区の取り組みで、母と子の関係を考える会(グループミーティング)のこと
こ こ ろ の 健 康	2201	職場ストレスと健康 第1集 ストレスとは	16	一般	ビデオ	ストレスとは、人間の心と体に対して外部からの社会的・精神的・肉体的刺激が加わり、心身にマイナスが生じた状態。
	2202	職場ストレスと健康 第2集 職場ストレス	18	一般	ビデオ	複雑な人間関係や過大な残業により、神経症やうつ状態に陥る人が増えた。
	2203	職場ストレスと健康 第3集 職場ストレスと健康防衛	19	一般	ビデオ	ストレス症候群に対するには、ストレスの防衛を考える。
	2204	小比木敬吾による症例分析	30	一般	ビデオ	慶應義塾大学医学部精神神経科助教授、小比木敬吾氏の講演。(メンタルヘルスを各職場、企業の中で実践する方法について)
	2205	セルフコントロール医学への道	58	一般	ビデオ	東大医学部分院心療内科長、石川・中氏の講演。(患者自身が、病理について熟知し、自分で自分の心身をセルフコントロール出来るようにする)
	2206	うつの時代	30	一般	ビデオ	日本精神病院協会会長、斉藤茂太氏のうつに関する講演会。
	2208	現代人のメンタルヘルス (心の病気)	29	一般	ビデオ	神経症・心身症・精神分裂病・うつ病・そう病・アルコール依存症などが一般的。
	2209	管理・監督者のための ストレスマネジメント	40	管理者	ビデオ	管理者として部下のストレス対策は、どうあるべきか。
	2210	中・高年期の精神保健	23	一般	ビデオ	65歳以上の老人の2割程度が、何らかの心の病気を持っている。老人の心の病気を説明。
	2211	その場でできるやさしい疲労回復法健康ストレッチング	20	一般	ビデオ	デスクワークの人達のために、ストレッチングを中心として様々な疲労回復方法を教示する。
	2212	災害と心のケア	42	一般	ビデオ	災害等の非常時に遭遇した時に、心的障害に対してどのように対処すべきか。
	2213	開く-かける-つなぐ～精神保健ボランティア～いっしょにいこうよ	39	一般	ビデオ	いろいろな精神保健ボランティアを紹介すると共にその大切さを訴える。
	2214	開く-かける-つなぐ～精神保健ボランティアもっとちかくに～	43	一般	ビデオ	作業所等にボランティアが集う。
2215	おかえり	99	一般	ビデオ	新婚の妻が幻覚妄想状態になったが、治療を拒む妻の要求を受け入れた夫が一晩の入院で退院させることになる映画。	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内容
こころの健康	2216	小さなほほえみのために ～乳幼児突然死症候群 SIDS から赤ちゃんを守る～	5分	一般	ビデオ	2千人に1人の割合で死亡者が発生。眠っている間に死ぬ。1歳未満の赤ちゃん。
	2217 1	企業戦士のメンタルヘルス 五月病症候群	20	一般	ビデオ	五月病は学生は受験後、新社会人は社内研修が終わった後等次の環境にうまく順応出来ない人(まじめな人、過保護の人、交際相手の少ない人等)が危ない。
	2217 2	企業戦士のメンタルヘルス 入社拒否症候群	20	一般	ビデオ	ア心身症イ軽症うつ症ウ無気力症エずる休み型に分類され、ア及びイのタイプが断然多い。
	2217 3	企業戦士のメンタルヘルス 燃えつき症候群	20	一般	ビデオ	無気力になる。仕事熱心、有能な人、几帳面な人、ゆとりや融通性に欠ける人が危ない。
	2217 4	企業戦士のメンタルヘルス 帰宅恐怖症候群	16	一般	ビデオ	家へ帰りたくても、家庭に父親の存在場所が無いため帰れない。クリニックへ駆け込み寺のように駆け込んでくる。妻の言動の影響が大きい
	2217 5	企業戦士のメンタルヘルス スーパーウーマン症候群	20	一般	ビデオ	スーパーウーマン症候群とは、スーパーウーマンになろうとして起きてくるストレス精神障害 職場の第一人者 妻として充実した家庭 母親としての子育て等を望む。
	2218	根絶！夫からの暴力 あなたは悩んでいませんか？	27	一般	ビデオ	平成13年4月に配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律が施行された。
	2219	心だって風邪を引く～メンタルヘルス対策を進めよう！～	41	一般	ビデオ	平成12年8月に、労働者から発表された事業場における労働省のこころの健康づくりのために指針について。
	2220	ドメスティックバイオレンス犯罪です	20	一般	ビデオ	日本各地に駆け込みシェルターがある。
	2221	再出発へのサポート～女のスペース・駆け込みシェルターの現場から～	18	一般	ビデオ	DVから逃れてくる女性達の駆け込みシェルターの現状と問題点を描く。
	2222	米国東海岸の挑戦 前編	23	一般	ビデオ	ボストン・ケンブリッジをはじめとする米国東海岸地域におけるドメスティックの被害者へのサポート。
	2223	米国東海岸の挑戦 後編	21	一般	ビデオ	マサチューセッツ州における、加害者への対象は進んでいる。ある被害者女性へのサポート状況を紹介。
	2224	ひきこもる心と向き合うには	73	一般	ビデオ	ひきこもりの子供を持つ家族の心構えについて。
	2225	あなたの心元気ですか！	19	高校生	ビデオ	多感な時期にある高校生が心の病を理解し、どのように対処するか工夫を考える、学ぶために制作された。
	2226	ストーカー対策 女性が身を守るために	30	女性 一般	ビデオ	ストーカー犯罪を中心に、女性が被害者になる犯罪事例をドラマ再現し、対策を解説。
	2227	なくせ！ストーカー！ 心の闇に潜むもの	40	女性 一般	ビデオ	ドラマを用い、ストーカー犯罪をわかりやすく解説。ストーカー被害に遭わないようにし
	2228	映像版・いいかげんに生きよう	22	一般	ビデオ	摂食障害者の自助グループ NABA 活動編。
	2231	こころの傷に寄り添って	31	一般	ビデオ	災害・被害のトラウマとこころのケア
	2232	広がる子どものうつ病	40	一般	ビデオ	
	2233	自助グループ活動の進め方	30	一般	ビデオ	交通事故被害者遺族の自助グループ支援ビデオ
	2234	自殺対策マニュアル		一般	DVD	地域や職場等の現場で自殺対策に取り組む従事者のために
	2235	統合失調症の人の回復力を高める 回復力を高める接し方	95	一般	DVD	統合失調症の症状、治療、再発予防について基本的な講義
	2236	統合失調症の人の回復力を高める ドラマで学ぶ回復力を高める会話	85	一般	DVD	ご本人との具体的なコミュニケーションについて実際のやりかたを学ぶ
2237	統合失調症の人の回復力を高める 家族の SST の進め方	45	一般	DVD	病気のご本人とのよりよいコミュニケーションについて家族が集まって考える。	

番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容	
2238	こころの病気を学ぶ授業 ～統合失調症～		一般	DVD	2008 年普及活動及び授業実施報告	
2239	眠れなくなった父さんヒツジ	30	一般	DVD	うつ病の人の 94%に「睡眠障害」があると報告されています。	
2240	こころのサインに気づいたら 悩んでいる人にあなたができること	11	一般	DVD	悩んでいる人との向き合い方について。	
2241	こころのサインに気づいたら 悩んでいる人にあなたができること	11	一般	DVD	悩んでいる人との向き合い方について。	
2242	こころのサインに気づいたら～ゲ ートキーパー養成研修用 DVD～	91	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用 DVD	
2243	こころのサインに気づいたら～ゲ ートキーパー養成研修用 DVD～被 災地対応編	152	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用 DVD	
2244	こころのサインに気づいたら～ゲ ートキーパー養成研修用 DVD～(講 義編・資料編)～	91	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用 DVD	
2245	スッキリ睡眠でイキイキと		一般	DVD		
2246	睡眠保健指導 No.1		一般	DVD		
2247	睡眠保健指導 No.2		一般	DVD		
老人 精神 保健	2301	花いちもんめ	127	一般	ビデオ	老人性アルツハイマー型痴呆症の男性に振り回される家族と親族の苦悩を描いた映画。
	2302	ぼけのお年寄り介護	22	一般	ビデオ	高齢化社会の到来を見越し、ぼけのお年寄り介護の方法が真剣に探し求められている。
	2303	痴呆性老人の介護者のために ～心の旅路～	77	一般	ビデオ	在宅老人(一人暮らし)に対する訪問看護の仕方について。
	2304 ～ 2305	痴呆老人の介護(1)(2)	各 20	一般	ビデオ	痴呆老人の特徴(症状)とそのかわりについて解説。
	2306	痴呆性老人の在宅介護! ぼけの病 状に対応するために～	24	一般	ビデオ	ぼけの老人に対する在宅介護の仕方について。
	2307	痴呆性老人の在宅介護! ～ボケ のお年寄りの正しい理解のために ～	25	一般	ビデオ	千葉市にある稲毛ホワイエの紹介。(週3日、昼間の間、ボランティアの人達がボケのお年寄りの世話をする施設)
	2308	痴呆性老人の家庭介護!!～痴呆 の理解とサービス～	32	一般	ビデオ	痴呆とはどのようなものかを教示すると共に、痴呆性老人の家庭介護方法を教える。
	2309	痴呆性老人の家庭介護!! ～家庭介護の実際	28	一般	ビデオ	家庭介護の基本的な心構えを、3人の体験者談を参考にまとめた。
	2310	心がうごけば身体も動く(上)	23分	一般	ビデオ	楽しくリハビリに取り組む老人の姿を描いたもの。どうしても自分の足で立ってみたい!
	2311	雪見橋は行く	25	一般	ビデオ	岩手県の豪雪地帯にある二つの村の老人医療面での画期的な成果を描いたもの。
	2312	熟年の季節	60	一般	ビデオ	
	2313	パッチンして!おばあちゃん	90	一般	ビデオ	
	2314	もし痴呆が起きたらアルツハイマー型 老年痴呆の介護編	23	一般	ビデオ	アルツハイマー型痴呆老人に対する介護の仕方について。
	2415	ひとりぼっちをなくそう	40	一般	ビデオ	精神障害者本人の会の紹介
	2316	おとしよりの介護「第8巻」	37	一般	ビデオ	痴呆性老人の問題行動と予防のてだてについて説明。
	2317	人は薬 痴呆性老人と介護のコツ	25	一般	ビデオ	痴呆性老人に対する介護の仕方について。
	2318	老いを楽しく美しく	25	一般	ビデオ	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
精 神 保 健	2401	君は空の青さを知っているか	24	一般	ビデオ	神奈川県における各作業所の取り組みを描いたもの。
	2403	150万人の訴え	29	一般	ビデオ	全国で150万人の精神障害者が、世間からの偏見と差別で苦しんでいる。
	2404	つらい養成巴病院(釧路のロマン)	40	一般	ビデオ	ある医者が、釧路で「人間解放」「自然に帰れ」を理念とした画期的な病院を開設した。
	2405	ひとりぼっちじゃない ～自立するファウンテンハウス～	35	一般	ビデオ	ニューヨークにある精神障害者の社会復帰施設、ニューヨークファウンテンハウスの紹介
	2406	僕たちのみた青い空	24	一般	ビデオ	神奈川県内の患者会「やまゆり会」の活動の様子を描いたもの
	2407	正しい知識は回復への道	14	一般	ビデオ	統合失調症は、正しい知識があれば治る病気である。
	2408	ゆっくり治療し再発を防ごう	14	一般	ビデオ	統合失調症の治療と再発を防ぐ方法。
	2409	私たちは家族 ～アメリカ家族会発展の秘密～	25	一般	ビデオ	ナミ「NAMI」(日本語で言う全家連)についての発展とその紹介
	2410	支えあうなかで ～精神障害者とその仲間たち～	35	一般	ビデオ	JHC板橋と作業所「えごのみ」の紹介。
	2411	精神障害者が受けられる税制上の 特典	11	一般	ビデオ	精神障害者には、各種税金にかかる基礎控除、非課税減免が認められている。
	2412	今ここにいきる～精神障害者と共 に～	30	一般	ビデオ	高知県における精神保健活動の紹介。
	2413	ここにおいでよ ～精神障害者を支える地域作業所	30	一般	ビデオ	地域作業所の紹介
	2414	知っておきたい薬の知識	15	一般	ビデオ	統合の治療薬についてわかりやすく説明。
	2416	サンフランシスコのハーフウェイハ ウス	20	一般	ビデオ	サンフランシスコで活発に活動している病院と家庭の中間にあたる施設の紹介。
	2419	全家連 30年のあゆみ	31	一般	ビデオ	日本全家連の生い立ちから現在までの歴史。
	2420	あちこたねえ ～精神障害者の地域生活支援～	30	一般	ビデオ	新潟県のすもん村にある通所授産施設の紹介。「あちこたねえ」とはもうだいじょうぶという意味
	2430	僕たちは飛行機に乗った	41	一般	ビデオ	通所授産施設「またたびの家」のメンバーが、飛行機で沖縄旅行した記録。
	2431 ～ 2432	精神障害者ケアマネジメント第1巻 第2巻	38 48	一般	ビデオ	精神障害者マネジメントの進め方について説明。
	2433	精神保健福祉ビデオシリーズ 精 神障害者をもつ人への援助の実際	23	一般	ビデオ	病院と患者の中間施設として諸々の施設が存在する。
	2434	精神保健福祉ビデオシリーズ 精 神障害者をもつ人のケアマネジメ ント	21	一般	ビデオ	基本的な考え方を基に、諸々の取り組みが行われている。
2435	精神保健福祉ビデオシリーズ の ーメラゼーション	27	一般	ビデオ	精神障害者には対するノーマライゼーション社会の現実を目指す。	
2436 ～ 2437	あせらずにゆとりをもってむりしない 全編 後編	38 30	一般	ビデオ	統合失調症を中心とした精神障害の心理教育のためにつくられたビデオ。	

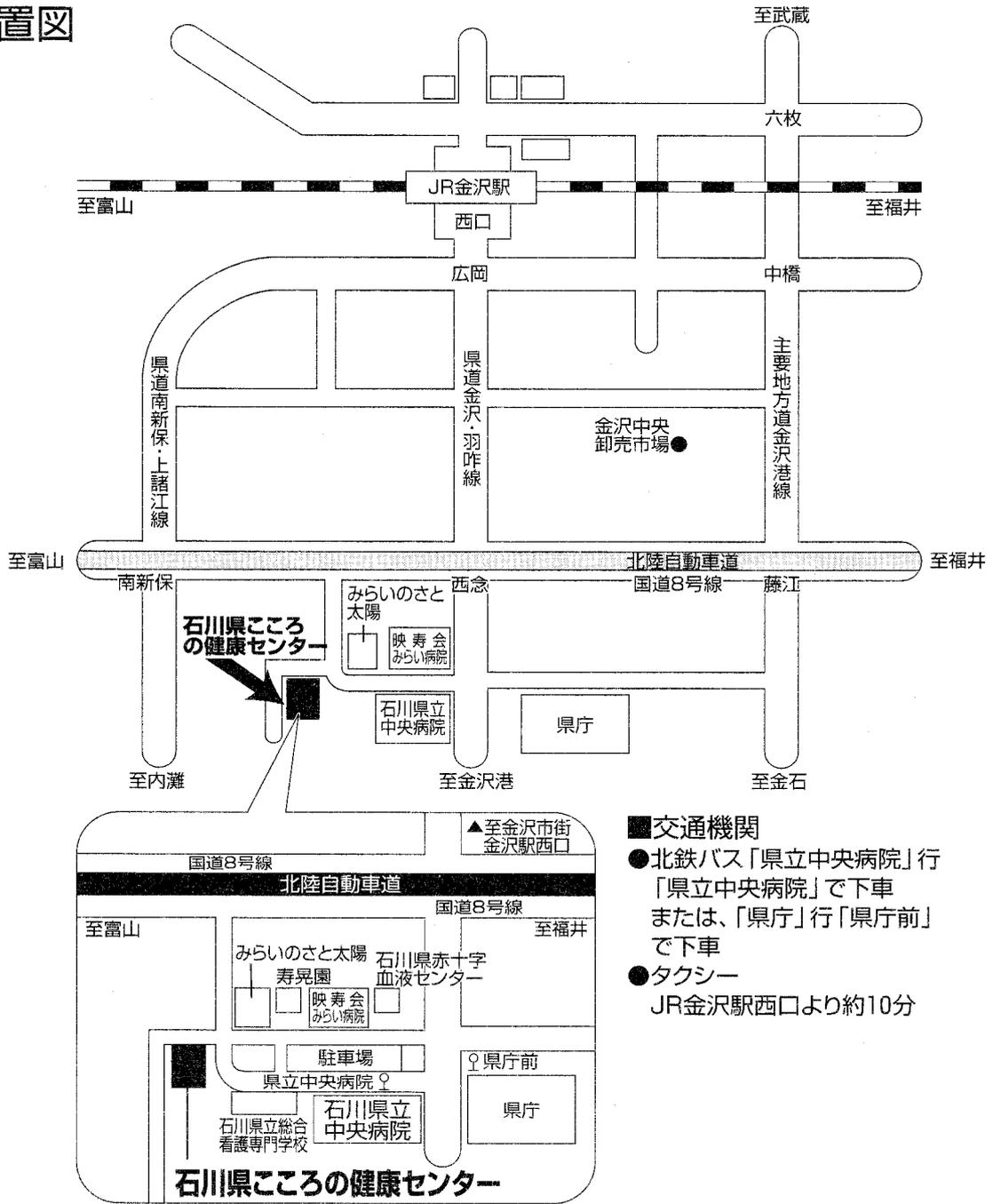
番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
2438	心理 教育による精神障害者の家族支援	34	一般	ビデオ	統合失調症があり、今は両親と療養生活を送る男性を例として精神障害者の家族に対する心理教育の大切さを訴える。
2439	統合失調症を生きる 妄想編その1 ～ 四六時中のぞかれていた七年間～	32	一般	ビデオ	23歳で統合失調症を発症した女性の、七年間にわたる戦いを描いたもの。(ベテルの家)
2440	統合失調症を生きる 妄想編その2 ～ ヒーローたちの戦い～	35分	一般	ビデオ	20代で統合失調症を発症した男性の体験を、同じ経験を持つ仲間と語り合う様子を描いたもの。(ベテルの家)
2441	今日の精神科入院医療 ～ 心の病気を克服するために～	26	一般	ビデオ	18歳の大学受験生が統合失調症診断され医療保護入院となるが順調に回復し通院治療となる。精神保健福祉法と解説と一般的な治療法を紹介。
2442	精神保健福祉ビデオシリーズ!! 共生の時代へ第4巻ピアカウセリング	23	一般	ビデオ	ピアカウセリングの実際と概要。
2443	正しく理解し回復を目指そう	20	一般	ビデオ	2407、2408、2414の改訂版
2444	薬の作用と上手な付き合い方	20	一般	ビデオ	
2445	この街で自分らしく生きる	20	一般	ビデオ	
2446	コートに輝く笑顔と汗	35	一般	DVD	精神障害者バレーボール全国大会の様相を紹介。
2447	ピアカウセリングセミナー基礎編シリーズ	284	一般	DVD	ピアカウセリングを共に学ぶ仲間づくり。
2448	17歳のカルテ	126	一般	ビデオ	精神科入院の17歳が自分自身を取り戻す。
2449	第1回精神障害者就業支援中央セミナー		一般	ビデオ	精神障害者雇用について
2450	～ 偏見を乗り越えて～癒しの揺りかご精神科医療		一般	ビデオ	精神科医療について
2453 ～ 2456	N(ネガティブ)からP(ポジティブ)へのすすめ ～ 東尋坊からのメッセージ～ (パート1～9)		一般	DVD	人生相談を受けた時に会話した内容。
2501	アルコールの害シリーズ～ 酒害の予防～	26	一般	ビデオ	最近の犯罪の多くはアルコールと関連している
2502	アルコールの害シリーズ ～ 10代の飲酒問題～	28	一般	ビデオ	最近の犯罪の多くはアルコールと関連している 10代の飲酒問題は極めて深刻な社会問題となっている。
2503	アルコールの害シリーズ ～ アルコール依存者の家族～	14	一般	ビデオ	家族と入院患者が、ファミリーワークに話し合いをする。(アメリカ)
2504	アルコールの害シリーズ ～ 女性とストレス～	21	一般	ビデオ	ある薬物、アルコール依存者の女性の事情を描く。
2505	アルコールの害シリーズ ～ 胎児性アルコール症候群～	10	一般	ビデオ	妊娠中の女性がアルコールを飲むと、胎児性アルコール症候群の赤ちゃんが産まれる。
2506	アルコール依存症とは	28	一般	ビデオ	あるアルコール依存症者の体験をもとに構成された。
2507	アルコール依存症の心理	20	一般	ビデオ	多くのアルコール依存症を克服した人々のインタビューをもとに構成された。
2508	アルコール依存症 ～ 家族の心理～	23	一般	ビデオ	多くのアルコール依存症を克服した人々のインタビューをもとに構成された。
2509	アルコール依存症 ～ アルコール依存症から回復～	27	一般	ビデオ	アルコール依存症者の体験をもとに構成された。
2510	アルコール依存症 ～ 酒なし生活術～	20	一般	ビデオ	神と悪魔が戦っている。その戦場は、人間の心の中である。自分の自覚がいつ持てるか。
2511	酒とバラの日々	122	一般	ビデオ	ある若い夫婦がアルコールによって、共に墜落の人生に落ち込んで行く様子を描いた映画。

番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容	
2512	老化と飲酒	26	一般	ビデオ	老人は、適正飲酒を心がけること。	
2513	アルコールと循環器	20	一般	ビデオ	アルコールは、肝臓はもとより心臓にも多大な影響を与える。	
2514	肝臓とアルコール代謝	29	一般	ビデオ	アルコールに対する肝臓の働きを解説したもの。	
2515	あと一杯が飲めるか ～ソーシャルドリンカーへの手引き～	43	一般	ビデオ	日頃、適正飲酒の指導などを行っている保健師さんが、飲酒によって起こる障害を予防するにはどうしたらよいかを精神科医と内科医に教示をうけた。	
2516	酒飲み上手は生き上手	16	青少年	ビデオ	若いあなたへ、上手な飲酒のアドバイス。飲酒量の単位とは何か、肝臓の処理能力は、1単位の消化に3時間必要である。妊娠中の女性の飲酒は絶対危険。	
2517	お酒と人生 ～飲み方・酔い方・楽しみ方～	17	一般	ビデオ	飲酒に関して、1単位ではほろ酔いかげん・2単位では本格的な酔い、体温が上昇、脈がはやくなる・3単位ではめいてい期、気が大きくなっておこりっぽくなる。	
2518	アルコールキッド ～今、お酒にはふれないで～	9	青少年	ビデオ	若年者が飲んだアルコールは脳細胞の破壊を進める。又、肝臓で分解されてアセトアルデヒドに酸化されるが、これを分解する酵素の働きが弱い。	
ア ル コ ロ ー ル 関 連	2519	未成年者とアルコール	23分	未成年者	ビデオ	未成年者の飲酒とイッキ飲み障害の防止を訴える。
	2520	アルコール依存症 ～依存症の概要～	29	一般	ビデオ	酒を止められない病気である。アルコール離脱症状の出現。断酒以外に回復の道がない。
	2521	アルコール依存症～ケース事例～	35	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。
	2522	アルコール依存症～専門職の活動～	33	一般	ビデオ	アルコール依存症者に対する相談・援助窓口について。
	2523	お年寄りとお酒の付き合い方	28	一般	ビデオ	お年寄りがお酒を飲むときの注意点について。
	2524	お年寄りとお酒の対策 ～アルコール依存症は病気です～	22	老人	ビデオ	ある老人のアルコール依存症の実例。回復の方法を教示。応神のアルコール依存症は年々増えている。
	2525	もうひとつの人生(上)	45	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。
	2526	もうひとつの人生(下)	55	一般	ビデオ	〃
	2528 ～ 2531	アルコール依存症への道 (1)～(4)	各20	一般	ビデオ	予防編(女性むけ、一般飲酒むけ) 回復編(家族むけ、依存症本人むけ) に分けて、説明。
	2532	未成年者にアルコールなんかいらぬ	36	未成年者	ビデオ	最近、中、高校生の飲酒が急激に増加している。
2533	アダルトチャイルド	32	一般	ビデオ	従来は、アルコール依存症の親のもとで育った人のことを言ったが、今では広く機能不全家族のもとで育った人のことを言う。	
2534	アルコール依存症 ～回復プロセスと再発予防～	40	一般	ビデオ	回復とはすなわち、再発を防止することでもある。	
2535	薬物依存 ～孤独そして絶望からの脱出～	29	一般	ビデオ	群馬県藤岡市上日野にある民間薬物依存者回復施設「ダルク」についての紹介。	
2536	強迫的ギャンブル回復施設 ワンダーポート	6	一般	ビデオ	ギャンブル依存症者が共同生活をしながら回復を目指す施設「ワンダーポート」の紹介。	
2537	未成年者のアルコール	26	一般	ビデオ	未成年者のアルコールについて	
2601	自立訓練法の実際	30	一般	ビデオ	心身をリラックスし、調整する、セルフコントロール法の実際を分かりやすく解説したもの。	
2602	リラクゼーションの実際	19	一般	ビデオ	筋弛緩法(生理的な緊張を解き、心理的な安静を得ようとするもの)	
2603	続リラクゼーションの実際	17	一般	ビデオ	筋弛緩法を実行してうまくいかない人のためのA-B-A方式の解説。	
2604	箱庭療法の基礎理論	19	一般	ビデオ	砂箱と色々なミニチュアを使って行われる心理療法を解説。	

	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
心 理 面 接 技 法	2605	絵画療法 (1)	20	一般	ビデオ	心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち直った例を、患者の方から描いたもの。
	2606	絵画療法の理論 (2)	24	一般	ビデオ	その場で描いてもらう方法と、あらかじめ描いて持ってきてもらう方法がある。
	2607	絵画療法の症例研究 (3)	32	一般	ビデオ	心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち直った例を、医師の方から描いたもの。
	2609	ケースの心をとらえる面接!	23	一般	ビデオ	どのような方法で面接を行えばよいかを教示している。
	2610	ケースの心をとらえる面接!!	27	一般	ビデオ	就職を目前にした大学生に対するカウンセリングの仕方を教示している。
	2611	ロールシャッハテスト	30	一般	ビデオ	インクのみで出来たカードを被検者に見せ、それぞれのカードに示される様々な反応を記録、検討して被検者の性格や人格像を見極める。
	2612	心理療法としての箱庭と子供への適応の方法	51	一般	ビデオ	カルフ婦人が、子供が勉強で離れた心を癒すために、箱庭療法を行いに来る。
	2613	フェイス トゥ フェイス 1巻 ~マイクロカウンセリング	24	一般	ビデオ	他人とうまく付き合っていくための技法を、マイクロトレーニングという方法で教示する。
	2614	フェイス トゥ フェイス 2巻 ~積極技法ほか~	26分	一般	ビデオ	いいかえと要約、感情の反映、フィードバック、積極技法。
	2615	フェイス トゥ フェイス 3巻 ~技法の統合ほか~	29	一般	ビデオ	焦点のあて方、主張、不一致と複雑なメッセージ、技法の統合。
	2616	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 モジュールの構成	24	一般	ビデオ	アメリカの精神科医師が、精神障害者の自立生活技能モジュールを開発した。
	2617	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 導入とビデオを用いた質疑応答	20	一般	ビデオ	導入…技能領域の学習への適切な導入のやり方を教示。ビデオを用いた質疑応答…ビデオを用いりながら、適切に質疑応答を行う方法を教示。
	2618	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 ロールプレイ	46	一般	ビデオ	ロールプレイの適切なやり方を教示。
	2619	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 実地練習ほか	56	一般	ビデオ	日常生活の中で、実際にやること。
	2620	自立生活技能(SILS) モジュール編 服薬自己管理モジュール	63	一般	ビデオ	抗精神病薬について知る、正確な自己服薬と評価の仕方を知る。薬の副作用を見分ける。
	2621	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 基本会話モジュール	42	一般	ビデオ	コミュニケーションの言語的要素と非言語的要素。
	2622	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 病状自己管理モジュール	51	一般	ビデオ	再発の注意サインを見つける、持続症状の対処方法を学ぶ。
	2623	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 余暇のすごし方モジュール	23	一般	ビデオ	レクリエーションの効果を明確にする。(ジョギング、水泳、バレーボール、映画、動物保護施設でボランティアなど)
	2624	パニックディスオーダー 6人の患者	9	一般	ビデオ	次のようなパニック障害がおきる人がいる。(突然の発症、呼吸困難、窒息感、めまい、吐き気、嘔吐など)
	2626	行動療法的家族指導(BFM) ~治療技法の実際編~	53	一般	ビデオ	BFMは精神病患者とその家族が、生活上のストレスを減らすため、自分たちの対処技能を効果的に使えるように導くものです。
2627	こころを育むストレスマネジメント技法	40	小・中・高・一	ビデオ	ストレスマネジメント教育で気持ちの切り替えがよくなる。ストレスに強くなる。	
2628	学校におけるストレスマネジメント教育	34	一般	ビデオ	学校におけるストレスマネジメント教育の可能性について探る。	

番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容	
2629	生きる力を創る ～ SST の倫理と実際～	47	一般	ビデオ	SST とは認知行動療法。(指導者が学習促進を援助する)	
2631	面接への招待	59	一般	ビデオ	電話によってインテークと訪問による面接を通して、相談援助面接の一つの事例を紹介。あらゆる領域で働く対人援助職者が、応用可能である。	
2632	面接への招待	60	一般	ビデオ	核心をはずさない相談援助面接の技法を紹介する。	
2633	ひきこもり完全脱出マニュアル 初級入門編 こうすれば子どもと対話ができる。	60	一般	ビデオ	ひきこもりに対応するには、親と子の意思疎通が重要である。対等の関係を保つ。	
2634	ひきこもり完全脱出マニュアル 第2講 ケーススタディ編 不登校とひきこもり	60	一般	ビデオ	ドラマ仕立てで事例を再現し、不登校状態をひきこもり状態へと深刻化させず、脱却させるための、家族、教師の心構えを解説。	
2635	ひきこもり完全脱出マニュアル 第3講 思春期対応編 精神的症状とひきこもり	45	一般	DVD	強迫性障害のお子さんを抱えた家族を事例に、ひきこもりに多い各種精神症状とその対応について、再現ドラマをもちこみながら斉藤環氏が解説。	
心 理	2636	ひきこもり ひきこもりに対する正しい理解	7分	一般	DVD	2003年から2004年にかけてNHKで放送された「ひきこもりサポートキャンペーン」の内容をもとに制作されたビデオ。
	2637	ひきこもり 支援の実践にあたって	43	一般	DVD	
	2638	ひきこもり 検証・支援現場～民間編～	39	一般	DVD	
	2639	ひきこもり 検証・支援現場～公的機関編～	35	一般	DVD	
面 接 技 法	2640	実録・家族療法1巻 「心理教育アプローチ」に基づく家族面接	61	一般	DVD	3人のセラピストによる家族面接ドキュメント
	2641	実録・家族療法2巻 「力動的療法」に基づく家族面接	68	一般	DVD	
	2642	実録・家族療法3巻 「システムアプローチ」に基づく	872	一般	DVD	
	2643	実録・家族療法 オリエンテーション編		一般	DVD	
2644	認知行動療法 べてる式	95	一般	DVD	ベテルの家の幅広い活動を(認知行動療法)という視点から切り取って紹介。	

位置図



こころの健康センター所報 第34号

平成25年12月発行

石川県こころの健康センター
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
電話 (076) 238-5761
FAX (076) 238-5762

ホームページ

<http://www.pref.ishikawa.jp/fukusi/kokoro-home/kokoro/top.html> (こころの健康センター)
<http://www.pref.ishikawa.jp/fukusi/kokoro-home/hattatu/top.htm> (発達障害支援センター)